

**平成28年度
長崎市重点化方針**

**平成28年2月
長崎市**

平成28年度長崎市重点化方針について

「平成28年度長崎市重点化方針」は、長崎市第四次総合計画を推進し、めざすべき将来の都市像の実現に向けて、平成28年度において長崎市がめざす目標とその達成のために重点的に取り組む戦略を定めたものです。

「重点プロジェクト」については、特に「進化」が必要な重点分野として、「経済」「まちの形」「まちを支える仕組み」を掲げ、これらを具体化するための事業群として選定したもので、着実な推進を図ることとしています。また、各部局等においては、それぞれ定めた重点的取組みに基づき、各事業に取り組むこととしています。

なお、平成28年度においては、次の基本的な考え方のもとで予算編成を行っています。

平成28年度予算編成にあたっての基本的な考え方(抜粋)

1 予算編成に際し踏まえておくべきこと

《めざす将来の方向等を確認する》

第四次総合計画に定めるめざす将来の方向を再確認するとともに、「第四次総合計画・後期基本計画」、「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「都市計画マスタープラン」といった重要な計画等の策定などの趣旨・ポイントを踏まえ、自分たちの部局ではどのように反映させるかしっかり理解して取り組む。

《時代の変化を読みとる》

時代の変化を読みとり、未来のために今何をなすべきかをしっかり考えて取り組む。

《現場のニーズをつかむ》

「現場のニーズ」をつかみ、現場起点・市民視点の姿勢で取り組む。

《成果をあげる》

これまで以上に「成果」に着目し、たくさんの成果をあげる。どのような成果をあげたいのか明確にし、“これまでのやり方にとらわれない”という姿勢で取り組む。

《選択と集中》

既存事業の廃止や縮小など大胆な見直しと必要な事業の重点化を図り、「選択と集中」により生み出された財源をバランスよく配分する。

2 平成28年度に特に力を入れて取り組むこと

《人口減少克服・地方創生に係る取組みの推進》

安定した良質な雇用の創出、結婚・出産・子育ての希望をかなえるための環境整備等や長崎らしい特徴を持った戦略として、長崎の強みである豊かな地域資源を活かし、交流の裾野を広げ、産・学・官・金・労・言等の自主的・主体的な参画による「交流の産業化」によって雇用力と稼ぐ力の向上に取り組む。

《重点プロジェクトの推進》

今後は具体的な成果を市民に示す重要な時期にさしかかってくるので、部局横断的な連携を強化し、プロジェクトの推進及び具体的な成果の見える化にしっかり取り組む。

《市長マニフェスト関連事業の推進》

第四次総合計画との関連性を確認したうえで、市の施策として位置づけ、計画的に取り組む。

《各部局の重点的取組みの推進》

各部長官が、「今、何に重点を置くべきか」の方針を全職員に明確に示し、時代の変化、現状と課題、めざす姿等を含め部局内でしっかり共有したうえで、今後の事業展開を見据えた予算編成に取り組む。

目 次

| | ページ |
|-----------------------------------|-----|
| ● 将来の都市像・まちづくりの基本姿勢 | 1 |
| ◆ 重点テーマ1 個性を活かした交流の拡大 | 2 |
| ◇ 重点テーマ2 平和の発信と世界への貢献 | 3 |
| ◆ 重点テーマ3 地域経済の活力の創造 | 3 |
| ◇ 重点テーマ4 環境との調和 | 4 |
| ◆ 重点テーマ5 安全・安心で快適な暮らしの実現 | 4 |
| ◇ 重点テーマ6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現 | 5 |
| ◆ 重点テーマ7 創造的で豊かな心の育成 | 6 |
| ◇ 重点テーマ8 多様な主体による地域経営 | 6 |
| ● 重点プロジェクト | 7 |
| ◆ 1 世界遺産推進プロジェクト | 8 |
| ◇ 2 長崎サミットプロジェクト | 10 |
| ◆ 3 国際観光客誘致プロジェクト | 12 |
| ◇ 4 出島表門橋架橋プロジェクト | 14 |
| ◆ 5 まちぶらプロジェクト | 15 |
| ◇ 6 都市再生プロジェクト | 18 |
| ◆ 7 市役所カワルプロジェクト | 19 |
| ◇ 8 市庁舎建設プロジェクト | 21 |
| ◆ 9 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト | 22 |
| ◇ 10 行政サテライト機能再編成プロジェクト | 24 |
| ◆ 11 公共施設マネジメント推進プロジェクト | 25 |
| ◇ 12 長く元気で！プロジェクト | 26 |
| ◆ 13 地域包括ケアシステム構築プロジェクト〈新規〉 | 28 |
| 【参考】 | |
| ◇ 地域振興プロジェクト〈平成27年度で終了〉 | 30 |
| ● 主な部局等の重点的取組み | |
| ◆ 防災危機管理室 | 31 |
| ◇ 企画財政部 | 32 |
| ◆ 総務部 | 33 |
| ◇ 理財部 | 34 |
| ◆ 市民生活部 | 35 |
| ◇ 原爆被爆対策部 | 36 |
| ◆ 福祉部 | 38 |
| ◇ 市民健康部 | 39 |
| ◆ こども部 | 40 |
| ◇ 環境部 | 41 |
| ◆ 商工部 | 42 |
| ◇ 文化観光部 | 44 |
| ◆ 水産農林部 | 47 |
| ◇ 土木部 | 49 |
| ◆ 都市計画部 | 51 |
| ◇ 建築部 | 52 |
| ◆ 消防局 | 53 |
| ◇ 上下水道局 | 54 |
| ◆ 教育委員会 | 55 |

将来の都市像・まちづくりの基本姿勢 ～基本構想・後期基本計画～

「基本構想」では、平成23年度からの10年間（平成23～32年度）において、めざす将来の都市像、まちづくりの基本姿勢、重点テーマやまちづくりの方針を定めています。
「後期基本計画」では、これからの5年間（平成28～32年度）において、将来の都市像を実現するために取り組む施策をわかりやすく体系づけています。
平成28年度においても、将来の都市像の実現に向け、重点テーマごとに掲げる各種施策や事業に積極的に取り組むこととしています。

まちづくりの基本姿勢

つながりと創造で
新しい長崎へ

将来の都市像

個性輝く世界都市
希望あふれる人間都市

重点テーマ 1 個性を活かした交流の拡大

重点テーマ 2 平和の発信と世界への貢献

重点テーマ 3 地域経済の活力の創造

重点テーマ 4 環境との調和

重点テーマ5 安全・安心で快適な暮らしの実現

重点テーマ 6 とともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

重点テーマ 7 創造的で豊かな心の育成

重点テーマ 8 多様な主体による地域経営

重点テーマ 1 個性を活かした交流の拡大

まちづくりの方針A

私たちは「住む人が誇り、だれもが訪れたいまち」をめざします

世界に誇れる歴史と文化に裏打ちされた長崎ならではの地域資源を更に磨きあげ、その魅力を広く発信していくことで、市民が自分たちのまちに誇りと愛着を持つとともに、世界の人々が訪れたいまちをめざし、交流の拡大に向けて様々な取組みを進めます。

平成28年度の主な取組み

- 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産登録時に示された勧告への対応、その構成資産の端島炭坑と高島炭坑（北溪井坑跡）の遺構調査や整備
- 観光客の理解促進と満足度の向上に向けた取組み
（世界遺産インフォメーション施設の整備、多言語対応のガイドブックの制作、ICTを活用したガイドシステムの構築など）
- 「歴史的風致維持向上計画」の策定
- 「ながさき歴史の学校」の既存コースの見直しと魅力ある講座の開設
- 長崎学の研究・発信拠点となる長崎学研究所の設置
- 出島の整備
 - ・建造物復元（6棟）や世界とのつながりをテーマにした展示による長崎と出島の魅力の発信
 - ・出島表門橋架橋及び周辺の中島川公園の整備
- 都心部のまちづくり
 - <長崎駅周辺エリア>
 - ・新幹線の整備やJR長崎本線連続立体交差事業が一体となった土地区画整理事業の推進
 - ・“長崎の玄関口”を形成する新しい駅舎や駅前広場等のデザインの検討
 - <松が枝周辺エリア>
 - ・松が枝国際観光船ふ頭の2バス化に向けた国や県との連携
 - ・市営松が枝町駐車場における歩行者通路の整備及びトイレの改修やエレベーター設置によるバリアフリー化
 - <まちなかエリア（「まちぶらプロジェクト」の推進）>
（新大工エリア）
 - ・新大工町地区の再開発事業などへの支援
（中島川・寺町・丸山エリア）
 - ・町家の保存活用や回遊路の整備、あじさいチャレンジ、丸山の魅力向上など
（浜町・銅座エリア）
 - ・浜町地区の再開発事業への支援、銅座川プロムナードや路地の整備など
（館内・新地エリア）
 - ・唐人屋敷顕在化、土神堂前における公園整備計画のための設計、建物等の調査
（東山手・南山手エリア）
 - ・旧長崎英国領事館や旧グラバー住宅などの洋館の保存整備、ばらチャレンジなど
（各エリアをつなぐ軸づくり）
 - ・誘導サインの設置や回遊路の整備、民間施設のトイレの開放に係る支援など
（地域力によるまちづくり）
 - ・「まちぶらプロジェクト認定制度」に基づく市民主体の取組みの推進など
- 景観づくりの推進
 - ・公共事業や大規模建築物のデザイン誘導、景観重要建造物の指定による良好な景観の保全及び創出
- 観光客の誘致
 - ・国内観光客や外国人観光客を対象とした観光動向調査・分析の充実、交通事業者や宿泊・観光施設等と連携した戦略的な観光振興策の展開
 - ・関連自治体との連携強化による広域的な周遊型観光の推進
- 「長崎市版DMO」の産学官連携によるあり方の検討
- JRデスティネーションキャンペーンの活用による新たな旅行商品の造成など
- 「長崎さるく」のコースの見直しなど
- 外国人観光客の受入れ対応
 - ・グラバー園、ローブウェイ、原爆資料館でのクレジットカード及び電子マネー決済の導入
- 夜景観光の推進
 - ・更なる魅力向上を図るための基本計画の策定
 - ・国内外に向けての積極的な夜景の魅力の発信
- 池島産業遺産観光事業による観光の振興及び地域の活性化など

重点テーマ 2 平和の発信と世界への貢献

まちづくりの方針B 私たちは「平和を願い、求め、つくるまち」をめざします

核兵器のない世界の実現に向け、原子雲の下で起きた事実や被爆者の体験を引き続き次の世代に語り伝えていくとともに、世界の人々との交流を深めながら、多くの平和のメッセージを発信していきます。

平成28年度の主な取組み

- 被爆体験の次世代への継承
 - ・「家族・交流証言者」が講話を行うための支援の実施と被爆者との交流会の開催
 - ・平和出前講座「ピースとーくカフェ」の開催
 - ・米国国立公文書館での原爆資料の調査・収集や市民団体との協働による企画展の開催
 - ・長崎原爆遺跡の史跡指定に向けた取組みや旧城山国民学校校舎の補修整備
- 平和の発信
 - ・伊勢志摩サミットにおける広島市との共同による原爆展の開催
 - ・広島外相会合の関連行事出席者への被爆地訪問要請
- 米国が進める「マンハッタン計画関連施設」の国立歴史公園化について、被爆地の意見が反映された展示内容となるための要請
- 「ナガサキ・ユース代表団」におけるアジアを中心とした同世代の若者との交流や日本各地での平和教育等の実践活動の開始

重点テーマ 3 地域経済の活力の創造

まちづくりの方針C 私たちは「活力に満ち、発展し続けるまち」をめざします

長崎サミットをはじめとした産学官金の連携により、外貨獲得を強化し、経済交流と域内経済の活性化による経済成長の実現をめざします。

平成28年度の主な取組み

- 地場産業の活性化
 - ・新たな産業分野である海洋再生エネルギー関連産業への進出に挑戦する地場企業の支援
 - ・週3便就航の「長崎ー釜山国際コンテナ定期航路」の定着に向けた官民一体の取組み
 - ・ものづくり企業の生産現場における中核人材育成の取組みなど
 - ・地場企業の人材確保を図るための企業を紹介するテレビ番組の放送など
 - ・学生の地元就職の促進
(「ジョブ・コミュニケーション」の開催、大学生による地元企業紹介パンフレットの作成)
 - ・U・Jターンの就職促進
(県外での合同企業面談会へ参加する企業への参加経費の一部助成など)
 - ・「創業サポート長崎」による創業者の創出と支援
- 企業誘致に向けた立地用地の整備やオフィスフロアの確保
- 商業の振興
 - ・域外からの需要の取込みに意欲とアイデアのある小規模事業者の取組みの支援など
- 長崎ならではの食材の知名度向上と消費拡大
 - ＜長崎の魚＞
 - ・四季ごとに旬の魚や飲食店を紹介する新たな情報誌の発行、ホームページでのPR、タペストリーによる四季の魚の提供店舗の顕在化など「魚の美味しいまち長崎」の魅力発信
 - ・四季折々の旬な魚を素材としたご当地グルメの提供及びPR
 - ＜なつたより＞
 - ・大都市圏での販売キャンペーンやびわ専用ホームページによる情報発信、スイーツ開発に対する支援
 - ＜長崎和牛・出島ばらいろ＞
 - ・市内及び大都市圏での取扱店舗の定着化並びに地域ブランドとしての観光客への情報発信の強化
- 水産業の振興
 - ・HACCP（ハサップ）認定加工場の整備に対する支援など
- 農業の振興
 - ・長崎市農業振興計画の策定や中高年層の就農意欲の喚起と就農後の定着に向けた取組みなど
 - ・記録的な寒波の影響による露地びわ等の被害への必要な対策

重点テーマ 4 環境との調和

まちづくりの方針D

私たちは「環境と調和する潤いのあるまち」をめざします

環境と調和する潤いのある長崎のまちをつくり、次の世代へ引き継ぐための取組みを進めます。

平成28年度の主な取組み

- 持続可能な低炭素社会の実現に向けた取組み
 - ・重点アクションプログラムの推進
- 「ながさきエコライフ」の取組みの浸透と拡大
 - ・「（仮称）ながさきサステナプロジェクト」の推進
（市民主体の環境活動の拠点「（仮称）サステナプラザながさき」の開設、市民ネットワーク「ながさきエコネット」に参加する「ながさきエコスクール認定校」の活動の支援）
- 省エネルギーの推進
 - ・市有街路灯の蛍光灯からLED灯への転換
- 循環型社会の形成
 - ・新西工場の供用開始
 - ・プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品等の焼却によるごみの適正処理の徹底

重点テーマ 5 安全・安心で快適な暮らしの実現

まちづくりの方針E

私たちは「安全・安心で快適に暮らせるまち」をめざします

だれもが安全で安心して快適に暮らすことができ、それを市民が実感できる長崎型の暮らしやすさを重視した取組みを進めます。

平成28年度の主な取組み

- 地域における防災力の向上
 - ・市民防災リーダーの地域防災マップづくり等への参加
 - ・地域目線で自主防災組織の結成促進と活動の活性化
 - ・初期消火用具を活用した地域住民との合同訓練の推進
 - ・消防団員における指導的役割を担う人材養成や将来の地域防災の担い手となる若い世代の人材育成
 - ・多言語による119番通報等への対応のための通報受信体制の整備
 - ・アナログ防災行政無線のデジタル化に向けた調査・基本設計の実施
- 暮らしやすいまちの形成
 - ・「都市計画マスタープラン」の改訂やその推進のための「立地適正化計画」の策定
 - ・市街地再開発事業の取組みに対する支援
 - ・斜面市街地再生事業で進めている生活道路の早期完成と企業や大学、地域との連携による電動手すりの設置
 - ・耐震診断の実施が義務化されている病院、店舗等に対する耐震改修設計費や工事費の助成
 - ・ながさき住みよ家リフォーム補助の実施
- 道路の整備
 - ・長崎自動車道や国道34号日見バイパスの完全4車線化の早期事業化に向けた国等への要望
 - ・長崎外環状線の早期整備に向けた県への要望
 - ・都市計画道路（片淵線、新地町稲田町線、銅座町松が枝町線など）の整備
 - ・仁田佐古小学校の建設にあわせた外周道路の拡幅整備
 - ・「車みち」整備の実施
- 公園の整備
 - ・鍋冠山公園展望台駐車場の増設や園路拡幅整備など
 - ・稲佐山公園中腹駐車場から山頂展望台へのスロープカーの整備に係る実施設計など
- 上下水道施設の統廃合と老朽化した施設の計画的更新及び水道管路の計画的な布設替えの実施

重点テーマ 6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

まちづくりの方針F

私たちは「人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」をめざします

誰もが、心身ともに健康で生きがいを持ち、地域で支え合い安心して暮らせるよう、地域における包括的な支援・サービス提供体制の構築及び地域の特性に応じた環境整備に取り組みます。

平成28年度の主な取組み

- 高齢者施策の推進
 - ・長崎版地域包括ケアシステムの構築（「認知症初期集中支援チーム」の配置、「認知症カフェ」の増設など）
 - ・地域密着型特別養護老人ホームの整備
- 健康づくりの推進
 - ・ラジオ体操の普及に向けた地域での一斉ラジオ体操の実施
- 障害者施策の推進
 - ・委託相談支援事業所の増設
 - ・長崎市立図書館を活用した就労体験事業の実施
- 「婚活」への支援
 - ・独身グループ同士のマッチング支援の近隣市町を含めた取組みへの拡大、セミナー等の実施による企業・団体における結婚や子育てしやすい職場環境をつくるための意識の醸成
- 安心して妊娠、出産できる環境の充実
 - ・不妊治療の助成拡大
 - ・産前産後支援事業の実施
- 子育て支援施策の推進
 - ・小学生までの医療費助成の拡大
 - ・父親向けの講座の実施や子ども連れで外出しやすい環境の整備
 - ・「保育所待機児童ゼロ」に向けての保育の量の確保
 - ・市立長崎幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行準備
 - ・放課後児童クラブにおける小学校の余裕教室等の活用や運営支援の拡充
 - ・放課後子ども教室の推進
 - ・市営住宅への子育て世帯の優先入居の拡大や三世代同居・近居への支援
- 被爆者援護施策の推進
 - ・被爆二世健康診断の検査項目への多発性骨髄腫検査の追加
 - ・被爆体験者支援事業の対象合併症への「認知症」の追加
- 生活保護等に関する取組み
 - ・生活支援相談センターにおける生活困窮者への自立に向けた支援の実施
 - ・生活保護受給世帯等の子どもへの学習支援
 - ・生活保護受給者への就労支援
- 長崎みなとメディカルセンター市民病院の全面開院による市民が安心できる医療提供体制の充実
- 救急車の適正利用の啓発や予防救急の取組み
- 救急サポートステーションの登録拡大や設置されているAEDの有効活用に向けた取組み
- すべての小学校、保育所、幼稚園等でのフッ化物洗口の実施に向けた保護者・教職員への啓発

重点テーマ 7 創造的で豊かな心の育成

まちづくりの方針G

私たちは「豊かな心を育むまち」をめざします

長崎の未来を担う子どもたちが、安全・安心に学校生活を送ることができるよう、「学校」と「家庭」、そしてそれを支える「地域」が互いに連携・協力し、教育環境の更なる充実を図るとともに、子どもたち一人ひとりが夢や希望を持ち、その実現に向けて努力することができるよう、学力の向上と社会性を育む取組みを進めます。

平成28年度の主な取組み

- 学校教育の充実
 - ・「スクールソーシャルワーカー」の専門性の向上と心の教育の充実など
 - ・デジタル教科書の中学校への整備
 - ・平和教育における小中9年間を見通した未来志向のプログラムの再編成
- 国際理解教育の推進
 - ・ALTが作成した独自の英語教材の小学校での活用など
- 教育環境の整備
 - ・学校トイレの洋式化及び壁掛式扇風機の年次計画による設置
 - ・伊良林小学校の建替えに向けた実施設計や仮設校舎の建設
 - ・屋内運動場の照明設備の落下防止対策
 - ・仁田佐古小学校の建設に向けた基本実施設計や旧校舎の解体の実施
 - ・外海地区中学校統合に伴う新設校の実実施設計等の着手
- 新設する日吉自然の家における市立小学校の5年生による野外宿泊学習の実施
- 長崎の歴史や世界遺産を学習する「“長崎の宝”発見発信学習推進事業」の推進
- 科学館の展示室のリニューアルに向けた基本・実施設計の着手や天体望遠鏡の更新
- おもてなしの気持ちや態度で、外国人と自然にコミュニケーションがとれるようになるための講座の実施
- スポーツの振興
 - ・「ラグビーワールドカップ2019」「東京オリンピック・パラリンピック」のキャンプ誘致など

重点テーマ 8 多様な主体による地域経営

まちづくりの方針H

基本構想の推進(つながる+創造する)

まちづくりの主役は市民一人ひとりであり、市民をはじめ、企業、大学、行政などが互いにつながり、自分たちで地域の課題を見つけ、解決する力を高める仕組みづくりを進めます。

平成28年度の主な取組み

- 「長崎市よかまちづくり基本条例」の活用による市民参画の機運の醸成
- 地域コミュニティの活性化の推進
 - ・地域が自主的、自立的に地域運営を行う地域自治組織の設立支援や制度の枠組みの構築
 - ・地域課題について話し合い、解決に向けて取り組む「わがまちみらい工房」の開催地区数拡大
 - ・地域づくりの担い手を対象とした講座等の開催やまちづくりを支援する職員の資質向上に向けた取組み
- 市民活動団体の活動の充実と運営力向上のための支援
- 地域を支える市役所の体制の充実
 - ・支所や行政センター、本庁の機能の再編成
 - ・滑石事務所を廃止し、滑石支所の新設
- 経費の削減と市民サービスや業務の「質」を向上するための行財政改革の取組みの推進
- 戸籍等の証明書の不正請求及び不正取得による、個人の権利の侵害の防止及び抑制を図るための「本人通知制度」の導入
- 自主財源の確保
 - ・市税等の徴収一元化債権の徴収向上と滞納処分の強化やその他の債権の未収金対策における滞納繰越分の整理を推進
 - ・ふるさと納税の推進
- 「公共施設マネジメント」の推進
 - ・地区ごとに施設の再配置や複合化などの考え方を示す「地区別計画」の策定

重点プロジェクト

「重点プロジェクト」については、特に「進化」が必要な重点分野として、「経済」「まちの形」「まちを支える仕組み」を掲げ、これらを具体化するための事業群として選定しています。

経済

1 世界遺産推進プロジェクト (企画財政部)

2 長崎サミットプロジェクト (商工部)

3 国際観光客誘致プロジェクト (文化観光部)

まちの形

4 出島表門橋架橋プロジェクト (文化観光部)

5 まちぶらプロジェクト (まちづくり部)

6 都市再生プロジェクト (まちづくり部)

まちを支える仕組み

7 市役所カワルプロジェクト (企画財政部)

8 市庁舎建設プロジェクト (企画財政部)

9 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト (企画財政部)

10 行政サテライト機能再編成プロジェクト (総務部)

11 公共施設マネジメント推進プロジェクト (理財部)

12 長く元気で！プロジェクト (福祉部)

13 地域包括ケアシステム構築プロジェクト <新規> (福祉部)

【参考】 地域振興プロジェクト <平成27年度で終了>

1 世界遺産推進プロジェクト

| | |
|-----------|--|
| プロジェクトの概要 | <p>長崎市には、平成27年7月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と、世界遺産登録をめざしている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」があります。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、2つの世界遺産登録の実現に向けて、世界遺産委員会における勧告の対応や構成資産の保全を行うとともに、世界遺産登録を見据え、来訪者の受入態勢の充実、周知啓発等を進め、来訪者の満足度や市民の機運醸成を高め、世界遺産を活用した交流人口の拡大による地域活性化をめざします。</p> |
|-----------|--|

| 目的 (ゴール) | 何を(対象) | どういう状態にしたいのか(意図) |
|-------------|--|---|
| | 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」 | 2つの世界遺産が登録され、資産が適切に保存・活用されるとともに世界中の人々に知られている。 |
| これまでの成果 | 平成27年7月の世界遺産委員会において、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。 | |
| これまでの課題 | <p>「産業革命遺産」は、第39回世界遺産委員会において8項目の勧告が示され、平成29年12月までに進捗状況の報告を求められている。また、構成資産を後世に伝えるための保護措置を進める必要がある。</p> <p>「教会群」は、イコモスの中間報告をふまえ平成28年2月に登録推薦を一旦取り下げることとなり、推薦書の見直しが必要である。</p> <p>「産業革命遺産」及び「教会群」ともに、受入態勢の整備や理解促進に対する取り組みを進めてきたが、来訪者の満足度を向上するため更なる推進が必要である。</p> | |

平成28年度の実行方針・主な取り組み

| | |
|------|---|
| 実行方針 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産委員会における勧告への対応、構成資産の保護措置及び世界遺産価値の理解促進を推進します。 ● 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の平成30年の世界遺産登録を推進します。 |
|------|---|

主な取組み

《明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業》

- 世界遺産登録における世界遺産委員会勧告に対応するとともに、構成資産を保全し価値を後世に伝えるため、調査や計画の策定、保全のための整備に取り組みます。

(主な事業)

- 高島炭坑跡、端島炭坑跡、小菅修船場跡、旧グラバー住宅のアクションプランの策定
- 高島炭坑跡及び端島炭坑跡の遺構調査
- 端島炭坑跡の保全整備
- 端島（軍艦島）整備基金の充実
- 旧グラバー住宅の耐震診断対策検討
- 平成27年の世界遺産登録後に増加している観光客の満足度向上を目指し、更なる受入態勢の充実を図るとともに、関係自治体と連携して周知啓発等を行い、世界遺産価値の理解促進を進めます。

(主な事業)

- 情報通信技術を活用した世界遺産ガイドシステムの構築
- グラバー園内の第2ドックハウスにおける展示施設の整備
- 市民ボランティアガイドの研修
- 世界遺産の構成資産見学者に対する安全誘導対策

| | | |
|------|-----------------------------------|-----------|
| 関連事業 | 「明治日本の産業革命遺産」推進費 | 87,662 千円 |
| | 「明治日本の産業革命遺産」理解促進費 | 2,584 千円 |
| | 世界遺産保存整備事業費（「明治日本の産業革命遺産」） | 30,800 千円 |
| | 文化財保存整備事業費 （国指定史跡高島炭鉱跡高島北溪井坑跡） | 14,400 千円 |
| | 文化財保存整備事業費 （国指定重要文化財旧グラバー住宅） | 16,600 千円 |
| | 文化財保存整備事業費補助金 （国指定史跡小菅修船場跡） | 612 千円 |
| | 文化財普及啓発費 | 972 千円 |
| | 世界遺産観光客受入費 | 57,003 千円 |

《長崎の教会群とキリスト教関連遺産》

- 平成30年の世界遺産登録を目指し、推薦書の見直しを進めるとともに、構成資産及び関連資産の適切な保存のための調査、整備を行います。

(主な事業)

- 出津教会堂石垣及び関連資産現況調査
- バスチャン屋敷跡（関連資産）整備

- 観光客の満足度向上を目指し、更なる受入態勢の充実を図るとともに、関係自治体と連携して周知啓発等を行い、市民の機運醸成を図ります。

(主な事業)

- 教会守の配置と市民ボランティアガイドの研修
- 長崎市外海の石積集落景観の多言語パンフレット作成

| | | |
|------|-------------------------|-----------|
| 関連事業 | 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録推進費 | 21,201 千円 |
| | 世界遺産観光客受入費（再掲） | 57,003 千円 |

2 長崎サミットプロジェクト

| | |
|-----------|---|
| プロジェクトの概要 | <p>地域経済の衰退に歯止めをかけるため、平成22年7月に経済4団体（長崎商工会議所、長崎経済同友会、長崎県経営者協会、長崎青年会議所）を主体に、アドバイザーとして長崎大学及びオブザーバーとして長崎県、長崎市を加えた産学官7団体による「長崎都市経営戦略推進会議」が設置され、危機感の共有と、民間主導で行う地域経済活性化への具体的な取組み「長崎都市経営戦略推進プロジェクト」が始まっています。また、プロジェクトを推進していくうえで、課題の共有やトップダウンによるプロジェクトの早期実現を図るため、産学官7団体の長からなる「長崎サミット」が開催されています。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、経済波及効果が大きい「基幹製造業」、「観光」、「水産業」、「教育（大学）」の4分野における重点推進項目を選定し、複数のワーキングチームにより地方創生の実現に向けた取組みが行われています。</p> |
|-----------|---|

| | | |
|-------------|--|-------------------------------|
| 目的 (ゴール) | 何を（対象） | どういう状態にしたいのか（意図） |
| | まち | 経済が活性化し、世界に誇る国際都市として成長を続けている。 |
| これまでの成果 | <p>重点4分野それぞれにおいて、一定の成果が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「基幹製造業」…客船連続建造への支援、ながさき海洋環境・産業拠点特区を活かした「ながさき海洋環境・産業雇用創造プロジェクト」が進んでいる他、新幹線開通に向けた取組みに注力した。 ●「観光」…特に、夜景観光、世界遺産の登録推進と受入体制の整備、外国人観光客対応などの取組みに注力した。 ●「水産」…長崎かんぼこ王国の活動の推進を図った。 ●「教育（大学）」…産学官が一体となって設立した「長崎留学生支援センター」の活動を中心に、留学生の募集・生活・就職といった各種支援策に一元的に取り組んだ。 | |
| これまでの課題 | この取組みは長崎県外参加7団体が各々当事者意識を持って取り組むことが重要となっているが、その具体的な検討を行う場である9つのワーキングチームにおいて活動に濃淡があり、今後、一層の活性化を図る必要がある。 | |

平成28年度の取組方針・主な取組み

| | |
|------|--|
| 取組方針 | <p>主要4分野（基幹製造業、観光、水産業、教育（大学））での生産や雇用の誘発等の効果をもとめ、長崎都市経営戦略推進会議及び長崎サミットとの連携を図り、民間が主体となって行う事業を積極的に支援するとともに、長崎市が主体で行う事業においても産学官の連携を強め、より効果的なものとなるように取組みを進めます。</p> <p>また、交流人口の拡大と地域経済の活性化に向け、長崎駅西側の交流拠点施設用地の活用について、さらに検討を進めます。</p> |
|------|--|

主な取組み

- 企業の経営力強化へ向けた事業などへの支援により、ものづくりの中小企業の競争力強化を図ります。また、産学連携を推進し、大学等の持つ研究成果等を活用した創業や新商品開発等の支援により、経済の活性化を図ります。

| | | |
|------|----------|-----------|
| 関連事業 | ものづくり支援費 | 16,851 千円 |
|------|----------|-----------|

- 市内の中小企業者等が製造し、または開発した、新規性や独自性、市場性、有用性が認められる製品・技術について認証の後、市内外へ情報発信し、また、市の優先購入で官公庁への販売実績をつくることで、販路開拓・拡大を支援します。

| | | |
|------|---------|----------|
| 関連事業 | 優れモノ認証費 | 1,741 千円 |
|------|---------|----------|

- 長崎市内における海洋再生エネルギー産業集積を促進するため、新たに海洋再生エネルギー産業集積や産業集積に資する事業に取り組む企業の事業可能性調査及び人材育成を支援します。

| | | |
|------|---------------------|----------|
| 関連事業 | 海洋再生エネルギー産業集積推進費補助金 | 3,600 千円 |
|------|---------------------|----------|

- 長崎市の基幹産業の1つである観光に関し、民間主導の観光地域づくりの推進主体であるDMOの構築及び運営等について、産学官が連携して推進します。

| | | |
|------|--------|-----------|
| 関連事業 | DMO推進費 | 19,000 千円 |
|------|--------|-----------|

- 外国人観光客を増加させることを目的とした受入体制の整備及び誘致活動を進めます。

| | | |
|------|--------------------|-----------|
| 関連事業 | アジア・国際観光客誘致対策費（再掲） | 34,633 千円 |
|------|--------------------|-----------|

- 経済成長が著しいアジア諸国等に対して、地場企業と連携した加工食品等の試験販売、商談会等を実施し、地場企業の販路開拓を支援します。

| | | |
|------|-------------|----------|
| 関連事業 | アジア等販路拡大推進費 | 4,500 千円 |
|------|-------------|----------|

- 長崎市事業者の特性である「多品種・少量(希少性)」「長崎らしさ」などの商品価値を高めることで、商品単価を向上させ、購買力のある顧客をターゲットに販売し売上の向上を図ります。

| | | |
|------|---------------|-----------|
| 関連事業 | 長崎こだわり逸品育成支援費 | 18,364 千円 |
|------|---------------|-----------|

- 長崎の夜景の魅力向上を図るため、中心市街地の斜面地や、観光地周辺等の重点地区の灯りの整備等に向けた基本計画の策定等を行います。

| | | |
|------|---------------|-----------|
| 関連事業 | 夜景観光推進基本計画策定費 | 19,285 千円 |
|------|---------------|-----------|

- 世界遺産案内所など世界遺産の価値や観光に関する情報提供、便益施設の整備等により、観光客の満足度向上及びリピーターの確保を図ります。

| | | |
|------|------------|-----------|
| 関連事業 | 世界遺産観光客受入費 | 57,003 千円 |
|------|------------|-----------|

- 長崎の水産練り製品のブランド化を進めることで、販路拡大等を支援し、売上げ増を目指します。

| | | |
|------|------------------|--------|
| 関連事業 | 長崎水産練り製品ブランド化支援費 | 775 千円 |
|------|------------------|--------|

- 水産加工品の衛生管理の水準を向上して競争力を高め、販路拡大につなげます。

| | | |
|------|------------------|----------|
| 関連事業 | HACCP（ハサップ）認証推進費 | 1,708 千円 |
|------|------------------|----------|

- 春夏秋冬それぞれに旬の魚がある長崎ならではの魚種の豊富さを活かし、市内外への魅力発信と観光客に対する「食」のおもてなしを実施します。

| | | |
|------|----------------------|-----------|
| 関連事業 | 「長崎のおさかな」PR・おもてなし事業費 | 10,587 千円 |
|------|----------------------|-----------|

- 大学等のグローバル化に併せ、学生数の増にもつながる留学生の増加を図るため、産学官が一体となって設立した「長崎留学生支援センター」の活動を中心に、留学生の各種支援策に取り組みます。

| | | |
|------|-----------|----------|
| 関連事業 | 留学生支援・連携費 | 1,532 千円 |
|------|-----------|----------|

3 国際観光客誘致プロジェクト

| | |
|-----------|--|
| プロジェクトの概要 | <p>少子化による修学旅行生の減少など、国の人口そのものが減少している中では、長崎市が国内観光客数を拡大させていくことは難しくなっており、海外からの観光客の誘致という視点が重要となっています。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、主にアジア地域からの外国人観光客の誘客を図るとともに、国際クルーズ客船などからの外国人観光客がもたらす経済効果を最大限取り込むことで、まちの賑わいと経済活性化につなげることをめざします。</p> |
|-----------|--|

| 目的 (ゴール) | 何を(対象) | どういう状態にしたいのか(意図) |
|-------------|--|------------------|
| | これまでの成果 | まちが |
| これまでの課題 | <ul style="list-style-type: none"> ●受入態勢整備 「コミュニケーションの円滑化」に重点的に取り組む中で、「地方拠点」として国から認定を受け、交通拠点の多言語案内板整備、多言語コールセンター整備等を行った。 平成27年度は、公衆無線LAN環境整備（観光施設10か所及び路面電車電停（全39か所））、市内飲食店の多言語メニュー作成及び店舗検索の機能を備えたウェブサイトの開設、外国人観光客おもてなし施設（トイレ、観光情報発信等の機能を備えた施設）整備など、「コミュニケーションの円滑化」に加え、地域消費を増加させる取組みを行った。 ●誘致・情報発信 長崎空港・福岡空港に直行便が就航する国・地域を対象に市場の成熟度や特性・ニーズに合わせ、誘致・情報発信活動を行った。チャーター便誘致をはじめ様々な商品造成と誘客に結びついており、平成26年の外国人延べ宿泊者数は、平成23年の約1.8倍の212,524人と過去最高を記録した。 | |

取組方針

- 市内外国人延宿泊者数を28万人にすることを目標に、「長崎市アジア・国際観光戦略」に基づき、長崎観光の楽しみ方の効果的な情報発信及び外国人観光客の受入態勢の整備充実を図ります。
- 国際クルーズ客船の寄港数の拡大につながるような取組みを進めます。
(平成27年国際クルーズ客船の乗客・乗務員数：432,958人 隻数：129隻)

主な取組み

- 情報発信及び外国人観光客の受入態勢の整備を行います。
- ・ 韓国、台湾等重要市場である東アジア及びビザ緩和等により勢いのある東南アジアからの観光客増加に向けた海外プロモーションの積極的な展開を図ります。
- ・ 2つの世界遺産及び夜景等による宿泊型観光の推進や富裕層旅行の誘致促進など、高付加価値化に向けた取組みを進めます。
- ・ 外国人観光客の滞在中の利便性及び満足度を高め、民間と連携して消費拡大を図ります。

| | | |
|------|-------------------|-----------|
| 関連事業 | アジア・国際観光客誘致対策費 | 34,633 千円 |
| | 釜山広域市職員派遣費 | 6,236 千円 |
| | 外国人観光客おもてなし施設運営費 | 11,719 千円 |
| | 外国人観光客受入推進事業費補助金 | 20,000 千円 |
| | 長崎港クルーズ客船受入委員会負担金 | 6,200 千円 |
| | まちなか商店街誘客事業費補助金 | 5,000 千円 |

4 出島表門橋架橋プロジェクト

プロジェクトの概要

出島表門橋の架橋により、江戸町側から当時と同じように橋を渡って出島に足を踏み入れ、復元した街並みを見ることができ、海に浮かんでいた19世紀初頭の出島を実感できるようになります。

そこで、このプロジェクトでは、平成26年度に江戸町側の遺構確認工事に着手し、平成28年度の乙名詰所など出島中央部6棟の復元完成後、早期の架橋をめざします。

目的（ゴール）

何を（対象）

どういう状態にしたいのか（意図）

出島表門橋を

完成させ、まちづくりに活かす

これまでの成果

- 出島表門橋架橋の前提となる中島川公園（出島対岸江戸町部分）の事業認可取得
- 土地・建物所有者及びテナントとの移転契約の締結
- 出島表門橋及び周辺整備設計業務の完了

これまでの課題

架橋に伴う用地に遺構が確認された場合、遺構の保護を行う必要がある。

平成28年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

江戸町側の発掘調査結果を踏まえた出島表門橋の詳細設計に基づき、架橋工事と周辺整備を進めます。併せてワークショップ等を通して、出島表門橋と周辺整備及びまちづくりに活かすための情報の共有を市民の皆様と進めていきます。

主な取り組み

- 出島表門橋の架橋工事を行います。

| | | |
|------|------------------|------------|
| 関連事業 | 出島復元整備事業費（出島表門橋） | 106,500 千円 |
|------|------------------|------------|

- 市民と事業に関する情報の共有を図るために、ワークショップ等を開催します。

| | | |
|------|---------------------|--------|
| 関連事業 | 出島復元推進費（出島表門橋整備推進費） | 812 千円 |
|------|---------------------|--------|

- 出島復元計画と一体的な中島川公園の整備を図るための用地を取得し（土地取得特別会計からの買戻し）、整備工事等を実施します。

| | | |
|------|---------------------------|------------|
| 関連事業 | 公園等施設整備事業費（中島川公園（出島対岸地区）） | 174,700 千円 |
| | 近隣公園整備事業費（中島川公園（出島対岸地区）） | 82,300 千円 |

- 出島表門橋架橋事業に伴う遺構確認調査で検出された旧出島橋の石材について、適切な保存管理を行いながら、調査研究を行います。

| | | |
|------|------------------|----------|
| 関連事業 | 出島復元推進費（旧出島橋調査費） | 3,537 千円 |
|------|------------------|----------|

5 まちぶらプロジェクト

プロジェクトの概要

歴史的な文化や伝統を色濃く残し、様々な都市機能が集積している「まちなか」においては、少子化、高齢化により都市の活力の低下が予測されていることから、魅力の強化が必要になってきているところです。

そこで、このプロジェクトでは、まちなかの回遊性を促し賑わいの創出を図るため、新大工から浜町、大浦に至るまちなか軸の、軸線上の各エリアの魅力をも高める面のまちづくりと、この面を連動させる軸づくりを進め、まちなかの魅力を具体的に見えるようにしていきます。

目的 (ゴール)

何を(対象)

どういう状態にしたいのか(意図)

まちなかを

まちなかの魅力の顕在化と賑わいの再生が図られている

これまでの成果

- 「まちぶらプロジェクト」の推進
- 「長崎市中心市街地活性化基本計画」の内閣総理大臣の認定取得

具体的な取組み例

- ・まちなみ整備助成、公共トイレや回遊路の整備、唐人屋敷顕在化事業、花で町を彩る花のあるまちづくり、商業振興の取組み支援など。
- ・銅座川プロムナードの整備に向けた調整等
- ・新大工町地区及び浜町地区における市街地再開発事業の推進

これまでの課題

- 市民と一体となって進めるため、まちぶらプロジェクト認定制度等により、より一層市民や企業の取組みを促す仕組みづくりが必要。
- 国の財政的支援を有効に活用するための取組み。

平成28年度の取組方針・主な取組み

取組方針

まちぶらプロジェクトにおける各エリアの方針のもと、地元との調整を図りながら、町家の保存活用、民間再開発事業や銅座川プロムナード事業の推進、ばらチャレンジなどの事業を実施し、各エリアの個性や魅力の顕在化を図ります。

主な取組み

《エリアのまちづくり》

- 新大工エリアで「商店街・市場を中心としたふだん着のまちづくり」に取り組みます。

| | | |
|------|--------------------------------------|------------|
| 関連事業 | 市街地再開発事業費 (新大工町地区) | 183,910 千円 |
| | 都市計画街路整備事業費 (片淵線：新大工工区) | 11,500 千円 |
| | 商業振興対策費 (地域商店街マネージメント支援費：新大工町商店街) | 1,100 千円 |
| | まちなか再生推進費 (新大工歴史発掘) | 500 千円 |

主な取組み

- 中島川・寺町・丸山エリアで「和のたたずまいと賑わいの粋なまちづくり」に取り組めます。

| | | |
|------|-------------------------------------|-----------|
| 関連事業 | 道路新設改良事業費 (浜町伊良林1号線) | 31,000 千円 |
| | 道路新設改良事業費 (古町麴屋町1号線) | 10,000 千円 |
| | まちなか再生推進費 (まちなみ整備助成金) | 10,000 千円 |
| | まちなか再生推進費 (丸山魅力向上) | 2,000 千円 |
| | 文化財保存整備事業費補助金 (各種文化財：県指定史跡花月) | 4,482 千円 |
| | 文化財保存整備事業費補助金 (各種文化財：県指定史跡興福寺寺域) | 352 千円 |
| | 観光振興対策費 (中島川周辺活性化事業費) | 1,620 千円 |
| | 花のあるまちづくり事業費 (あじさいチャレンジ) | 1,500 千円 |
| | 都市計画推進費 (長崎文化再生事業費補助金) | 1,000 千円 |

- 浜町・銅座エリアで「長崎文化を体感し、発信する賑わいのまちづくり」に取り組めます。なお、エリア内の銅座地区においては、地区の防災性を向上させるとともに、地域の魅力を高めるため、銅座川プロムナードの整備を実施します。

| | | |
|------|------------------------------------|------------|
| 関連事業 | 都市計画街路整備事業費 (銅座町松が枝町線：銅座工区) | 212,000 千円 |
| | 道路新設改良事業費 (銅座界わい路地魅力向上) | 20,000 千円 |
| | 河川等整備事業費 (銅座川) | 5,000 千円 |
| | 道路新設改良事業費 (地方道路等整備事業費：浜町油屋町1号線) | 5,000 千円 |
| | まちなかアートフェスタ開催費 | 4,495 千円 |
| | まちなか再生推進費 (浜町・銅座エリア魅力発信) | 1,000 千円 |
| | 商業活性化支援費補助金 (商店街にぎわいソフト事業) | 1,728 千円 |
| | 商店街賑わい整備事業費補助金 (防犯カメラ設置) | 2,160 千円 |
| | 外国人観光客おもてなし施設運営費 | 11,719 千円 |

- 館内・新地エリアで「中国文化に触れ、食を楽しむまちづくり」に取り組めます。

| | | |
|------|---------------------------------------|------------|
| 関連事業 | 都市計画街路整備事業費 (新地町稲田町線) | 116,850 千円 |
| | 歴史的地区環境整備事業費 (唐人屋敷顕在化) | 16,800 千円 |
| | 歴史的地区環境整備費 (唐人屋敷まちなみ整備助成金) | 4,000 千円 |
| | 道路新設改良事業費 (籠町稲田町1号線：電線類地中化) | 52,000 千円 |
| | 文化財保存整備事業費補助金 (各種文化財：市指定有形文化財福建会館) | 1,805 千円 |

- 東山手・南山手エリアで「異国情緒あふれる国際交流のまちづくり」に取り組みます。

| | | |
|------|--|------------|
| 関連事業 | 都市計画街路整備事業費 (銅座町松が枝町線：大浦工区) | 8,150 千円 |
| | 駐車場施設整備事業費 (松が枝町駐車場) | 123,200 千円 |
| | 斜面市街地再生事業費 (南大浦地区：南大浦地区拠点地域再生事業) | 410,600 千円 |
| | 文化財保存整備事業費 (国指定重要文化財旧グラバー住宅) | 16,600 千円 |
| | 文化財保存整備事業費 (国指定重要文化財旧長崎英国領事館) | 500,000 千円 |
| | 文化財保存整備事業費 (伝統的建造物：旧杠葉本館ほか) | 8,700 千円 |
| | 文化財保存整備事業費補助金 (伝統的建造物群保存地区：活水学院本館ほか) | 207,710 千円 |
| | 文化財保存整備事業費補助金 (各種文化財：県指定有形文化財旧長崎大司教館) | 12,500 千円 |
| | ばらチャレンジ事業費 | 1,000 千円 |

《軸づくり》

- 「まちなか軸」を基軸として、各エリア間の回遊性を高める環境の整備を行います。また、長崎駅周辺や松が枝周辺等の周辺施設との連携軸の整備により「まちなか」への誘導を図ります。

主な取組み

| | | |
|------|-------------------------------|-----------|
| 関連事業 | 歴史的風致維持向上計画策定費 | 4,112 千円 |
| | 道路新設改良事業費 (岩原川周辺環境整備) | 53,000 千円 |
| | 都市計画推進事業費 (まちなか再生賑わい整備) | 5,000 千円 |
| | 都市計画街路整備事業費 (大黒町恵美須町線) | 27,000 千円 |
| | まちなか再生推進費 (まちなみ修景計画策定) | 1,000 千円 |
| | まちなか再生推進費 (長崎おもてなしトイレ支援事業) | 1,000 千円 |
| | 公衆便所整備事業費 (西坂公園便所) | 16,000 千円 |
| | 商業振興対策費 (まちなか商業人材サポート事業費) | 2,546 千円 |
| | 商業振興対策費 (まちなか商店街誘客事業費補助金) | 5,000 千円 |

《地域力によるまちづくり》

- 地域や市民自らが企業や行政、NPO等の多様な組織と連携を図りながら、まちを守り、育て、創るために行動し、その集積がまちなかを支えるような地域力や市民力を結集する取り組みを行います。

| | | |
|------|-------------------------------|----------|
| 関連事業 | まちなか再生推進費 (地域まちづくり活動事業) | 2,000 千円 |
| | まちなか再生推進費 (まちなか賑わいづくり活動支援) | 2,000 千円 |

6 都市再生プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市の未来につながる魅力あるまちづくりを戦略的・総合的に推進していくうえで、新幹線整備を契機とした長崎駅周辺の再整備、松が枝地区の国際観光船埠頭の整備など、中心部で計画され進められている各種事業や将来求められる新たな事業などを、まちの活性化につなげていくことが重要になってきています。

そこで、このプロジェクトでは、長崎市中央部・臨海地域における交流人口を拡大させるため、中心部を松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、まちなかエリア、中央エリアの4つのエリアで捉え、長崎県と連携し、各エリアの整備計画の事業化に取り組み、都市の魅力の強化、回遊性の充実、国際ゲートウェイ機能の再構築を行っていきます。

| 目的 (ゴール) | 何を(対象) | どういう状態にしたいのか(意図) |
|-------------|---|-------------------------|
| | | 都市再生の各エリア毎の整備計画に掲げられた施策 |
| これまでの成果 | <ul style="list-style-type: none"> ●松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、まちなかエリア、中央エリアについて整備計画の策定を行った。 ●整備計画に基づき、まちぶらプロジェクト、長崎駅周辺土地区画整備事業、市道大黒町筑後町1号線の拡幅整備、岩原川沿いの環境整備、出島表門橋の整備を進めた。また、長崎駅周辺エリアデザイン指針を策定した。 | |
| これまでの課題 | 整備計画に基づき事業を進めているが、今後、事業化が進んでいない事項等について、検討を進めて行く必要がある。 | |

平成28年度の取組方針・主な取組み

取組方針

長崎市中央部・臨海地域の松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、中央エリア、まちなかエリアの各整備計画に基づき、事業を着実に実施し、都市の再生を図ります。

主な取組み

- 松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、中央エリア、まちなかエリアの再整備事業を着実に推進します。

(主な事業)

- ・長崎駅周辺土地区画整理事業
- ・九州新幹線西九州ルート建設事業
- ・JR長崎本線連続立体交差事業費
- ・都市計画道路大黒町恵美須町線整備事業
- ・都市計画道路長崎駅中央通り線整備事業

| | | |
|------|---|--------------|
| 関連事業 | 土地区画整理事業費 (長崎駅周辺地区) | 501,961 千円 |
| 関連事業 | 九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金 | 419,792 千円 |
| 関連事業 | 都市計画費負担金(社会資本整備総合交付金事業費、旧地方特定道路整備事業費、JR長崎本線連続立体交差事業費) | 1,337,550 千円 |
| 関連事業 | 都市計画街路整備事業費 (大黒町恵美須町線(※再掲)、長崎駅中央通り線) | 376,000 千円 |

※都市再生プロジェクトには、「まちぶらプロジェクト」(15~17ページ)の取組みも含まれています。

7 市役所カワルプロジェクト

| | | |
|-------------------------|---|---|
| <p>プロジェクトの概要</p> | <p>市民ニーズが多様化・高度化するなか、効率的かつ効果的な行政サービスが求められています。また、市民の皆さんと協働してまちづくりを進めていくためには、信頼される市役所でなくてはなりません。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、職員が常に市民起点で仕事に取り組み、成果をあげられる市役所になることをめざし、市民満足度の向上につながるしごと改革を推進していきます。そのためには、「自ら考え、自ら発信し、自ら行動する自立（律）型」へ転換し、また「市民や企業等と連携する協働型」、「今の時代に合わせた仕組みやルールを作り出す創造型」をプラスして仕事に取り組む職員の意識を醸成していきます。併せて職員がいまよりもっと活躍する環境を整え職員のやる気を引出すとともに、持続的な市役所の成長につながる組織マネジメントの確立をめざします。</p> | |
| <p>目的（ゴール）</p> | <p>何を（対象）</p> <p>仕事のやり方</p> | <p>どういう状態にしたいのか（意図）</p> <p>目的・目標を達成するために、組織のめざす姿や果たすべき役割を共有し、全ての職場で改善が当たり前になっている</p> |
| <p>これまでの成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●改善報告件数がH22年度273件からH26年度1,242件と増加を続けており、職員に業務を見直そうとする意識と行動が広がっている。 ●所属長が組織活性化に向けたプランを立て、実践することで、組織を経営する意識づけが進んでいる。 ●ミーティングリーダー養成講座を延べ280人が受講し、職場ミーティングで対話をする機会が増えている。 ●時間外の講座（まるかじり講座）に全職員の約4分の1の職員が1回以上参加し、前向きに仕事に取り組もうとするやる気の向上につながっている。 | |
| <p>これまでの課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●所属長の組織に対する責務について、十分に浸透を図ることができていないため、職場活性化の取組みにバラつきがある。（組織マネジメントに係る全体水準のレベルアップ） ●職場内での情報共有や職員同士の連携・協力など、コミュニケーションが不足している。 ●職員が職場の目的、目標から自らの役割を認識し、仕事に取り組む環境になっていない。 | |

取組方針

- 組織のめざす姿と果たすべき役割から管理職職員がなすべき仕事に取り組む環境をつくります。
- 目的・目標の達成に向けてチーム一丸となって仕事に取り組む職場づくりを行います。

主な取組み

- 【組織マネジメント力の強化】
組織力の成長を図るため、職場での実践を通して、組織マネジメントに対する理解を深めるとともに、全庁で取り組む仕組みの構築を目指します。
 - ・市役所カエルゼミ（部局長）
 - ・組織マネジメントトレーニング（所属長）と職場活性化プランの実践
- 【対話の促進】
対話の機会を数多くつくることで、職場内の良好な人間関係を構築し、本音で意見交換できる職場環境をつくります。
 - ・職場ミーティングの実施
 - ・ミーティングリーダー養成
- 【気づき・きっかけづくり】
職員が、新しい考え方ややり方を学び、自らの意識を変える気づきや仕事の仕方を変えていくきっかけをつくります。
 - ・まるかじりセミナー
 - ・業務改善発表会

| | | |
|------|-------------|----------|
| 関連事業 | 行政マネジメント推進費 | 4,059 千円 |
|------|-------------|----------|

8 市庁舎建設プロジェクト

| | |
|-----------|---|
| プロジェクトの概要 | <p>現在の市庁舎の課題である、施設の老朽化や狭隘さ、窓口や執務室の分散、耐震強度の不足などの問題点の解決を、補強・改修により行うことは困難です。</p> <p>これらの問題を解決するため、これまでに市議会での市庁舎建設特別委員会や市庁舎建替に関する市民懇話会、更には市民アンケートによりいただいた皆様からのご意見を踏まえて、平成23年2月に市庁舎を建替えることについて、平成25年1月には、建替場所を公会堂及び公会堂前公園敷地とすることなどを決定し、表明しています。</p> <p>平成25年度には、新庁舎建設基本計画の策定にあたり設置した「長崎市新庁舎建設基本計画検討市民会議」や「市庁舎・支所機能再編検討特別委員会」からのご意見を踏まえ、基本計画を策定しました。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、耐震性能の確保、バリアフリーや地球環境への配慮など、今の時代に求められる機能はもちろん、市役所をもっと身近に感じてもらうことができ、市民の皆様が訪れやすく、交流の場となるような「愛される市役所」をめざし、新たな市庁舎の早期完成に向けた取り組みを進めていきます。</p> |
|-----------|---|

| | | |
|-------------|--|-----------------------------|
| 目的 (ゴール) | 何を(対象) | どういう状態にしたいのか(意図) |
| | 現市庁舎 | 市民が利用しやすい機能を有する新市庁舎への建替えを行う |
| これまでの成果 | 市議会特別委員会や市民懇話会等における議論、意見を踏まえながら、建て替え場所を決定するとともに、今後の新庁舎の設計に向けた具体的な方針等を示す、基本計画の策定を行った。 | |
| これまでの課題 | 関連する大型公共事業のうち、方向性が未確定のものがあるため、設計の着手時期が明確にできていないこと。 | |

平成28年度の取組方針・主な取組み

| | | | | | |
|-------|--|------------------|--------------|------------------|--------------|
| 取組方針 | 早期に新庁舎の基本・実施設計に着手できるよう検討を進めます。 | | | | |
| 主な取組み | <ul style="list-style-type: none"> ● 新庁舎建設の財源として市庁舎建設整備基金への積み立てを行います。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">関連事業</td> <td style="text-align: center;">市庁舎建設整備基金(新規積立分)</td> <td style="text-align: center;">1,000,000 千円</td> </tr> </table> ● 新庁舎建設事業の進捗状況について、市ホームページ等により、市民の皆様へ随時お知らせします。 | | 関連事業 | 市庁舎建設整備基金(新規積立分) | 1,000,000 千円 |
| | 関連事業 | 市庁舎建設整備基金(新規積立分) | 1,000,000 千円 | | |

9 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト

| | |
|---------------|---|
| プロジェクト の概要 | <p>急速な少子高齢化の進行、核家族化や一人暮らし世帯の増加など家族形態の変化、価値観や生活スタイルの変化などに伴う無関心や個人主義の広まりなどにより、地域の一員であるという地域属性の意識や地域の連帯感が持ちにくい状況にある一方で、東日本大震災以降、地域コミュニティの必要性は改めて認識されているところです。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、地域の主体性、自立性を尊重した地域コミュニティの活性化を推進するため、自治会を含む地域全体の力を集める新しいしくみづくりを積極的に支援していきます。</p> |
|---------------|---|

| 目的 (ゴール) | 何を(対象) | どういう状態にしたいのか(意図) |
|-------------|--|-------------------------------------|
| | 地域コミュニティ | 心地よく安心して暮らせるよう行動する人や団体が増え、共に助け合っている |
| これまでの 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ●「地域コミュニティあり方委員会」を開催し、地域の取組みの方向性及び市の支援策の方向性について取りまとめた報告書が提出され、地域コミュニティの活性化に向けた今後の展開が示された。 ●「地域コミュニティ活性化事業」により、地域の団体同士のつながりづくりを推進した。 ●地域の団体同士が集まって課題等について話し合う「わがまちみらい工房」を開催し、地域の団体同士のつながりづくりや、住民同士が話し合う場づくりを推進した。 | |
| これまでの 課題 | 地域の団体同士がつながるきっかけづくりは進んだが、地域コミュニティの新しいしくみづくりまでは至っていないこと。 | |

取組方針

- 次の視点から、地域が自ら考え、行動し、「自分たちのまちは自分たちでよくする」ための、新しいしくみづくりに取り組みます。
- 地域コミュニティの新しいしくみとして、地域が自主的・自立的に地域運営を行う地域自治組織の設立に向けて支援します。
 - 多様な主体による自立した地域運営に必要な知識やスキル等の習得を行う場を提供し、話し合う場づくりやリーダーの育成を通じた地域マネジメント力の強化を支援します。
 - 有識者等からの意見を反映させながら、地域が動きやすいしくみづくりを進めるとともに、地域のパートナーとして、まちづくりを支援する職員の資質向上に取り組みます。

主な取組み

- 【モデル地区における地域自治組織設立の実施・検証】
モデル地区において実施・検証を行い、本格実施に向けた制度の枠組みを構築します。
(主な事業)
・地域自治推進モデル事業の実施
- 【話し合う文化の醸成】
地域に講師を派遣して地域の人口推移や分布等の客観的なデータを見ながら、地域課題の抽出や解決に向けた取組みについて話し合う地域の勉強会の開催を支援します。
(主な事業)
・わがまちみらい工房の開催支援
- 【リーダーの発掘・育成】
地域の担い手等を対象とした講座を開催し、多様な主体による自立した地域運営に必要な知識やスキル等の習得に向けた支援に取り組みます。
(主な事業)
・わがまちみらいマネジメント講座の開催
・わがまちみらい情報交換会の開催
- 【まちづくり支援職員の資質向上】
まちづくりの専門家を招へいし、まちづくりを支援する職員の資質向上に取り組みます。
(主な事業)
・地域コミュニティ活性化アドバイザー委託
・まちづくり支援職員研修の実施
- 【有識者等からの意見聴取】
附属機関を設置し、地域コミュニティ施策の推進などについて検討します。
(主な事業)
・地域コミュニティ推進審議会の開催
- 【地域福祉の推進】
市社協と協働し、地域福祉の推進を図ります。

| | | |
|------|-------------|-----------|
| 関連事業 | 地域コミュニティ推進費 | 10,777 千円 |
|------|-------------|-----------|

10 行政サテライト機能再編成プロジェクト

| | |
|-----------|---|
| プロジェクトの概要 | <p>長崎市では、周辺の町村との合併を重ねる中で、合併地区の住民の利便性を考慮し、旧町村役場を支所・行政センターとして設置してきましたが、市民ニーズの多様化、少子高齢化の進行や情報化の進展、地域における住民のつながりが薄れつつあることなど、支所・行政センターを取り巻く環境は大きく変化し、その役割も変化しています。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、支所・行政センターと地域コミュニティとが連携しながら、住民が住みなれた地域をより暮らしやすい場所とできるよう、行政サテライト機能の再編を推進していきます。</p> |
|-----------|---|

| | 何を（対象） | どういう状態にしたいのか（意図） |
|-------------|---------|---|
| 目的 （ゴール） | 市役所の体制を | <ul style="list-style-type: none"> ●市民や地域が、手続きやまちづくりの相談を近くで済ませることができるようにする。 ●職員が地域に出て、地域の課題に即した対応ができるようにする。 |
| これまでの成果 | | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の代表者や学識経験者から構成する「長崎市支所等あり方検討委員会」や、市議会「市庁舎・支所機能再編検討特別委員会」を経て、現在の課題や、再編成の3つの視点が整理された。 ●平成27年1月から、支所の窓口でできる手続きを110拡充した。 |
| これまでの課題 | | <ul style="list-style-type: none"> ●市役所のしくみを変える大きな取組みであるため、機能や体制の設計に予想以上の時間がかかっている。 ●市民の暮らしやすさにも深く関係する取組みであるため、再編成によって、庁内の混乱や、市民サービスに支障をきたすことがないように、シミュレーションを重ねて組み立てる必要がある。 |

平成28年度の取組方針・主な取組み

| | |
|-------|---|
| 取組方針 | 支所や行政センター、本庁の機能を再編成し、地域全体を見て支援する体制づくりを進めます。 |
| 主な取組み | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の住民の相談・手続きや、地域が行うまちづくりの窓口である「新たな支所」機能の整備に取り組みます。 ●市民生活に密着した仕事について、一定の決定権を持って行う「総合支所」機能の整備に取り組みます。 |

11 公共施設マネジメント推進プロジェクト

| | |
|-----------|--|
| プロジェクトの概要 | <p>長崎市の公共施設は、老朽化が進んでおり、人口の減少や少子高齢化の進行など、公共施設を取り巻く状況が変化し、求められる役割も多様化していることから、将来を見据えた公共施設のあり方を抜本的に見直す時期が到来しています。</p> <p>また、厳しい財政状況の下、これからの公共施設をどのように維持・更新していくについては、施設のさらなる有効活用や将来を見据えた適正配置など、無駄をなくす取組みも必要です。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、市民が安心して快適に公共施設を利用できるよう、さまざまな環境の変化に適応した公共施設へ見直しを図るとともに、次の世代に負担をかけずに継承できる持続可能な公共施設へと転換する「公共施設マネジメント」を推進し、子どもから高齢者までだれもが暮らしやすいまちの実現をめざします。</p> |
|-----------|--|

| | 何を（対象） | どういう状態にしたいのか（意図） |
|---------|---|------------------|
| 目的（ゴール） | 公共施設マネジメントの実施計画となる地区別計画 | 策定が完了している |
| これまでの成果 | <ul style="list-style-type: none"> ●長崎市公共施設白書の作成 ●長崎市公共施設マネジメント基本計画の策定 ●長崎市公共施設の用途別適正化方針の策定 ●長崎市公共施設保全計画の策定 | |
| これまでの課題 | <ul style="list-style-type: none"> ●庁内の施設所管課が主体的に計画の実行に取り組むこと ●長崎市の公共施設マネジメントに対する市民の理解を得ること | |

平成28年度の取組方針・主な取組み

| | |
|------|--|
| 取組方針 | 公共施設マネジメントの地区別計画の策定を進め、実効性のある公共施設マネジメントを推進します。 |
|------|--|

| | | | | |
|-------|---|----------|---------------|----------|
| 主な取組み | <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設マネジメントの推進に実績のある大学との連携により、地区ごとに施設の再配置や複合化などの考え方を示す「地区別計画」の策定を順次進めていきます。 ● 公共施設の再構築について理解促進を図るため、地区住民説明会などを開催します。 | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">関連事業</td> <td style="width: 40%;">公共施設マネジメント推進費</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">4,455 千円</td> </tr> </table> | 関連事業 | 公共施設マネジメント推進費 | 4,455 千円 |
| 関連事業 | 公共施設マネジメント推進費 | 4,455 千円 | | |

12 長く元気で！プロジェクト

| | |
|---------------|--|
| プロジェクト の概要 | <p>長崎市は超高齢社会を迎えています。現在、団塊の世代の多くが65歳以上となり、人口が減少していく中、高齢者の人口は今後も増加していきます。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、超高齢社会においても、高齢者が住み慣れた地域で医療や介護を必要とせず、健康で生きがいをもって暮らしていける、「出番」と「居場所」のあるしくみづくりを進めていきます。</p> |
|---------------|--|

| 目的 (ゴール) | 何を(対象) | どういう状態にしたいのか(意図) |
|-------------|---|--|
| | 市民 | 自主的に地域で健康づくりに取り組み、生涯にわたり生きがいをもって活躍できる高齢者を増やす。(出番と居場所の仕組みづくり) |
| これまでの 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者サロンの開設箇所 (平成23年度～) 11箇所→43箇所 ●健康づくり推進員の人数：(平成24年度～) 6団体 643人→9団体 1,197人 ●ノルディックウォーキング教室(平成27年度～) 14回 491人 ●健康遊具設置数：(平成24年度～) 1箇所→7箇所 ●ボランティアポイント制度登録者：(平成23年度～) 109人→569人 ●長く元気で！応援事業「セカンドライフガイドブック」(平成27年度～) 作成部数：3,000部 ●NBCラジオ生ワイド番組「集まれ！飛び出せ！団塊フレンズ」への参画： (平成26年度～) 平成26年度/46回 平成27年度/39回 | |
| これまでの 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の健康づくり、生きがいづくりの仕組みづくりは多岐にわたるため、市民にわかりやすく、気軽に取り組んでいただけるように、プロジェクトの普及啓発に工夫が必要である。 ●高齢期を迎える前からシニア世代への取組みを図る必要がある。 | |

取組方針

「地域で取り組む健康づくり」と「しくみを活かす生きがいづくり」の2本の柱で、超高齢社会に対応した地域に根ざしたしくみづくりを行います。

- 「地域で取り組む健康づくり」につきましては、「高齢者ふれあいサロン」の各地区への展開を図るとともに、シニア世代への運動の習慣化やラジオ体操の普及を推進することで、地域で自主的に健康づくりを行う市民が増えるよう取り組みます。
- 「しくみを活かす生きがいづくり」につきましては、「ボランティアポイント制度」を活用したサポーターの育成に努めるとともに、シニア世代の退職後の生き方の道しるべとなるガイドブックの活用を図ることで、生涯にわたり地域で元気に活躍する高齢者が増えるよう取り組みます。

主な取組み

- 身近にある公民館や集会所に高齢者が集い、そこに集まる市民が主体的に運営を行うことで、参加者の健康や生きがいづくりをはぐくみ、互いに地域で見守り、支え合う場の醸成に取り組みます。

| | | |
|------|-----------------------------------|-----------|
| 関連事業 | 地域活動支援事業費（高齢者ふれあいサロン事業・長く元気で！交流会） | 15,379 千円 |
|------|-----------------------------------|-----------|

- 地域における健康づくりの担い手である食生活改善推進員やロードウォークサポーターをはじめとした健康づくり推進員の活動を通して、連携・協働による地域での健康づくりの普及活動等に取り組みます。

| | | |
|------|------------|----------|
| 関連事業 | 地域健康づくり推進費 | 2,179 千円 |
|------|------------|----------|

- 市民活動団体と協働して、「ノルディックウォーク」を活用したシニア世代の運動習慣化の推進に取り組みます。

| | | |
|------|----------------------|--------|
| 関連事業 | 健康ウォーク推進事業費（提案型協働事業） | 958 千円 |
|------|----------------------|--------|

- 地域の公園に健康遊具等を設置し、健康遊具とウォーキングを組み合わせた「高齢者いきいきプログラム」を活用し、地域住民と一緒に健康づくりに取り組みます。

| | | |
|------|------------------------------|-----------|
| 関連事業 | 公園等施設整備事業費 京泊公園ほか（健康遊具設置） | 30,500 千円 |
|------|------------------------------|-----------|

- ラジオ体操を通して、市民の自主的な健康づくりや地域活動の活性化を推進します。

| | | |
|------|--------------|----------|
| 関連事業 | ラジオ体操元気応援事業費 | 1,927 千円 |
|------|--------------|----------|

- ボランティアポイント制度により「高齢者ふれあいサロン」や「施設ボランティア」等、地域の中でボランティア活動をする高齢者が増えるよう取り組みます。

| | | |
|------|---------------------------------|----------|
| 関連事業 | 地域活動支援事業費 （地域支援ボランティアポイント事業） | 3,666 千円 |
|------|---------------------------------|----------|

- 高齢期に入る前からセカンドライフの準備ができるよう市民活動団体と協働して作成した「セカンドライフガイドブック」を活用した出前セミナーやイベントに取り組み、シニア世代の退職後の道しるべとします。

| | | |
|------|----------------------|----------|
| 関連事業 | 長く元気で！応援事業費（提案型協働事業） | 1,480 千円 |
|------|----------------------|----------|

- ラジオ生ワイド番組と公開イベントの連携により、中高年層の活動発表・情報発信・新たな出会いの場を創出します。

| | | |
|------|----------------------|----------|
| 関連事業 | 「飛び出す団塊シニア世代」交流促進事業費 | 1,296 千円 |
|------|----------------------|----------|

13 地域包括ケアシステム構築プロジェクト <新規>

| | |
|---------------|---|
| プロジェクト の概要 | <p>団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）には長崎市の高齢化率は約35%となり、急速な後期高齢者及び認知症高齢者の増加が見込まれます。超高齢社会への対応として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域ごとに必要な医療や介護、介護予防の提供体制を整備し、住まいや日常生活の支援を一体的に提供する長崎版地域包括ケアシステムの構築を進めます。</p> <p>このプロジェクトでは、在宅医療・在宅介護サービスの充実、医療・介護・福祉の連携強化、地域包括支援センターの機能強化、認知症の早期発見・早期対応、買い物や見守り等の日常生活の支援策、生きがいづくりや健康づくり、地域包括支援センターを中心に医療・介護・福祉の専門職が地域を支援する体制づくり等の取り組みを進めます。</p> |
|---------------|---|

| | 何を（対象） | どういう状態にしたいのか（意図） |
|-------------|---|--|
| 目的 （ゴール） | 高齢者が | 住み慣れた地域で、身体状況に応じて、いきいきと安心して暮らし続けることができる。 |
| これまでの 成果 | <p>高齢者の在宅生活を支えている地域包括支援センターにおいて、地域ケア会議等を通じて、地域住民の皆様との連携が深まってきています。在宅医療においては、医師の有志で長崎在宅Dr.ネットが結成され、複数の医師で在宅医療に取り組む仕組みができています。</p> <p>また、医療・介護の連携拠点として包括ケアまちなかラウンジを創設しました。その他、認知症サポーターや認知症サポートリーダーの養成、認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェの創設などの認知症対策を実施してきました。</p> | |
| これまでの 課題 | <p>介護保険ニーズ調査においては、高齢者の約6割の方が在宅での介護を望んでいるが、最終的には約8割の方が病院等に入院している状況です。在宅生活を支える在宅医療、介護、福祉の連携不足やコミュニティの希薄化による支え合いの体制が弱まってきています。</p> <p>今後、見込まれる要介護高齢者や認知症高齢者の増加、医療費・介護費用の増大への対応が急務です。</p> | |

取組方針

- 地域ごとに医療・介護・福祉の多職種連携を強化し、在宅医療や介護サービスを切れ目なく、一体的に提供する体制を整備します。
- 生きがいづくりや健康づくり、介護予防に取り組むとともに日常生活の支援を行う体制の整備に取り組みます。

主な取組み

- 医療・介護連携の窓口として包括ケアまちなか라운ジの機能強化

| | | |
|------|----------------|-----------|
| 関連事業 | 在宅医療・介護連携推進事業費 | 34,070 千円 |
|------|----------------|-----------|

- 認知症初期集中支援チームの設置

| | | |
|------|--------------------------|--------|
| 関連事業 | 認知症総合支援事業費（認知症初期集中支援チーム） | 686 千円 |
|------|--------------------------|--------|

- 認知症カフェの拡大（3箇所⇒5箇所へ）

| | | |
|------|--------------------|--------|
| 関連事業 | 認知症総合支援事業費（認知症カフェ） | 500 千円 |
|------|--------------------|--------|

- 地域ケア会議の充実（市全体および各地域包括支援センター）

| | | |
|------|--------------------------|----------|
| 関連事業 | 地域ケア会議推進事業費及び地域包括ケア推進協議会 | 5,485 千円 |
|------|--------------------------|----------|

- 高齢者ふれあいサロンの拡大（43箇所⇒53箇所へ）

| | | |
|------|-------------------------|-----------|
| 関連事業 | 地域活動支援事業費（高齢者ふれあいサロン事業） | 14,551 千円 |
|------|-------------------------|-----------|

- 地域ごとに医療・介護・福祉の多職種連携チーム結成
- 施設を含めた看取り体制の整備
- 医療・介護・福祉情報の共有システム化
- 地域資源（医療・介護・予防、保健・生活支援など）の見える化
- 市民への普及啓発
- 認知症の方への見守り体制の構築

【参考】 地域振興プロジェクト <平成27年度で終了>

| | |
|------------------|---|
| プロジェクトの概要 | <p>合併地区においては、人口減少はあったものの、長崎市都心部のベッドタウン的な地区にあっては人口減少傾向も逓減している状況です。</p> <p>一方、離島や過疎地域においては引き続き人口減少と高齢化が進行し、従来からの課題であった雇用の場の確保と定住人口の拡大に加え、コミュニティの維持・地域の活力の低下が課題となっています。</p> <p>そこで、このプロジェクトでは、地域住民とともに策定した地域振興計画を基に、地域の個性を活かした地域振興策を推進します。</p> |
|------------------|---|

| | | |
|---------------------|---|--------------------------------|
| 目的 (ゴール) | 何を(対象) | どういう状態にしたいのか(意図) |
| | 行政 | 地域振興の推進体制ができています |
| | 住民と行政 | 一緒にまちづくりの方向性を考え、協働するしくみができています |
| これまでの成果 | <p>市町村建設計画を補完するため、7地区で延べ72回のまちづくり会議を実施し、地域振興計画を平成25年5月に策定した。</p> <p>地域振興計画に基づき、地域振興策の事業化を行った。(野母崎地区高浜海岸交流施設整備、池島産業遺産観光事業など)</p> | |

取組方針・主な取組み

| | |
|------------------|--|
| これからの取組方針 | <p>地域振興プロジェクトについては、合併地区を含め市全体でまちづくりを進めるため、「地域コミュニティのしくみづくり」及び「行政サテライト機能再編成」に再編し、所管部局と連携しながら進めていきます。</p> <p>今後も、市町村建設計画及び地域振興計画の早期事業化に努め、住民の参画をさらに促し、住民と協働で地域の個性を活かしたまちづくりを推進します。</p> |
|------------------|--|

| | | | |
|--------------------------|----------------------------------|--------------------------------|------------|
| 平成28年度の 主な取組み | ● 地域振興計画に基づく事業の具体化を進めます。 | | |
| | 関連事業 | 虹色のまちづくり推進事業費 | 1,670 千円 |
| | | 池島炭鉱体験施設運営費 | 22,855 千円 |
| | | 【単独】公民館施設整備事業費 (野母地区公民館ほか) | 180,900 千円 |
| | | 「明治日本の産業革命遺産」推進費(再掲) | 87,662 千円 |
| | | 「明治日本の産業革命遺産」理解促進費(再掲) | 2,854 千円 |
| | | 世界遺産保存整備事業費(「明治日本の産業革命遺産」)(再掲) | 30,800 千円 |
| | | 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録推進費(再掲) | 21,201 千円 |
| | ● 地域おこし協力隊の活動がさらに充実するための支援を行います。 | | |
| 関連事業 | 地域おこし協力隊事業費 | 24,205 千円 | |

平成28年度 各部署等の重点的取組み

防災危機管理室

重点化方針

自助・共助・公助の連携による地域防災力の向上

重点的施策1

「公助の充実」
災害に対する備えの充実・強化

主な取組み

- ① 避難所の環境整備
 - ・大規模災害に備えた拠点避難所の指定
 - ・指定避難所の見直し
 - ・備蓄品の充実
- ② 防災行政無線のデジタル方式への更新
 - ・基本設計の策定

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|--------------------------------|------------------------------|-----------|----------------------|
| | E1 | 拡大 | 災害対策活動費 (避難所用マット等の備蓄品の拡充) | 防災危機管理室 | 29,472 (9,883) 千円 |
| E1 | 新規 | 【単独】防災行政無線整備事業費 防災行政無線デジタル化 | 防災危機管理室 | 19,000 千円 | |

重点的施策2

「自助・共助の促進」
連合自治会単位での自主防災組織の結成促進及び活動の活性化

主な取組み

- ① 連合自治会単位での結成促進
 - ・防災講習会等の実施
 - ・地域防災マップづくりの拡大
 - ・市民防災リーダーのさらなる活用
- ② 連合自治会単位での活動活性化
 - ・地域と連携した避難所の試験的運営の拡大
 - ・地域の行事を活用した防災活動の推進

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------------|---------------------------|--------------------------------|----------|-------------------|
| | E1 | 拡大 | 自主防災組織活動費 (市民防災リーダーのさらなる活用) | 防災危機管理室 | 6,425 (165) 千円 |
| E1 | 継続 | 地域防災マップ作成費 | 防災危機管理室 | 1,723 千円 | |
| E1 | 創造・ 挑戦枠 | 災害対策活動費(地域と連携した避難所の試験的運営) | 防災危機管理室 | 1,000 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

企画財政部

重点化方針

施策推進と安定的な財政基盤確立との好サイクルを実現する。
市民生活の充実と新たな財源につながる施策を推進することにより、さらに新たな財源を生み、安定的な財政基盤の中で、総合計画等の目標達成を図る。

重点的施策1

総合計画、人口減少対策等の着実な推進に向けた安定的な財政基盤の確立

主な取組み

- ・財源確保につながる取組みの推進(連携中枢都市圏の検討など)
- ・将来の財源確保につながる取組みへの予算の重点配分(雇用創出、出生数の増など)
- ・事業の抜本的見直し(総務部における業務の棚卸しとの連携)

重点的施策2

第四次総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進

主な取組み

- ・PDCAサイクルによる施策の着実な進行管理
- ・人口減少対策(婚活、移住定住促進、游学都市ながさきなど)の推進
- ・連携中枢都市圏の検討

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---|----------|-----------------|
| | H3 | 継続 | 政策評価費 | 都市経営室 | 2,294 千円 |
| | H2 | 新規 | まち・ひと・しごと創生総合戦略推進費 | 都市経営室 | 754 千円 |
| | A2 | 新規 | 移住定住希望者向けホームページ開設費 | 地域振興課 | 2,000 千円 |
| | A2 | 継続 | 移住定住促進事業 | 琴海行政センター | 542 千円 |
| | F4 | 拡大 | 「ながさきで婚活」応援事業費 (企業・団体向けの「結婚しやすい職場づくり」に係るセミナーの開催) | 都市経営室 | 221 (221) 千円 |
| | A3 | 継続 | 游学都市・ながさき推進費 | 都市経営室 | 2,684 千円 |

重点的施策3

施策推進に向けた市民・企業・各種団体などの積極的な参画の促進

主な取組み

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けた多様な主体の参画促進
- ・よかまちづくり基本条例の活用による各種施策への市民参画の機運の醸成

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|----------------|-------|----------|
| | H2 | 新規 | 長崎創生プロジェクト事業費 | 都市経営室 | 7,500 千円 |
| | H2 | 新規 | よかまちづくり基本条例推進費 | 都市経営室 | 3,779 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

総務部

| | |
|--------------|--|
| 重点化方針 | 時代の変化に対応できる自律した組織と職員(成果を出していく組織と職員) ワーク・ライフ・バランスの実現 |
|--------------|--|

| | |
|---------------|---------------------|
| 重点的施策1 | 時代の変化に柔軟に対応できる組織づくり |
|---------------|---------------------|

| | |
|--------------|---|
| 主な取組み | <ol style="list-style-type: none"> 1 全庁的な業務の棚卸しによる職員の適正再配置 2 新たな行革プランの策定 3 行政サテライト機能の再編成 |
|--------------|---|

| | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---------|---------|----------|
| 予算化する 主な事業 | H3 | 継続 | 行政改革推進費 | 行政体制整備室 | 2,052 千円 |

| | |
|---------------|-----------------|
| 重点的施策2 | 課題に自ら対応できる職員づくり |
|---------------|-----------------|

| | |
|--------------|---|
| 主な取組み | <ol style="list-style-type: none"> 1 発揮された能力・挙げた実績に基づく新たな評価制度の構築 2 ワーク・ライフ・バランス実現に向けた職場環境の整備 3 メンタルヘルス不調の防止策の強化・継続 |
|--------------|---|

| | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|-----------|-------|-----------|
| 予算化する 主な事業 | H3 | 継続 | 職員安全衛生管理費 | 人事課 | 46,118 千円 |
| | H3 | 継続 | 職員研修費 | 人事課 | 8,369 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

理財部

| | |
|--------------|---|
| 重点化方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた発注による建設工事の担い手の確保 ・自主財源について、財源の増と徴収の向上により一層の確保を図る。 |
|--------------|---|

| | |
|---------------|---|
| 重点的施策1 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた発注の平準化 ・入札不調の解消 |
|---------------|---|

| | |
|--------------|---|
| 主な取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・前倒しの発注のほか債務負担などによる平準化の方策を研究、検討 ・施工条件の悪い工事の積算方法について研究、検討 |
|--------------|---|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---------------|-------|-----------|
| | H3 | 継続 | 入札・契約制度適正化推進費 | 契約検査課 | 33,236 千円 |

| | |
|---------------|---|
| 重点的施策2 | <ul style="list-style-type: none"> ・謝礼品の充実と情報発信の強化による寄附額の増 ・庁内の債権管理の強化と均一化による現年度分の徴収の向上 |
|---------------|---|

| | |
|--------------|---|
| 主な取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・事業者との連携による特色ある謝礼品の増と様々な機会や複数の媒体によるPRの実施 ・長崎市の債権管理指針に基づく庁内統一の債権管理の徹底 ・滞納繰越分の困難案件の整理推進 |
|--------------|---|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|-------------------------------------|-------|------------|
| | H3 | 継続 | がんばらんば長崎市応援寄附推進費 | 収納課 | 125,413 千円 |
| | H3 | 継続 | 全庁的な債権管理の徹底(庁内の債権管理の強化と均一化による徴収の向上) | 収納課 | - |
| | H3 | 継続 | 未収金対策費 | 収納課 | 445 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部局等の重点的取組み

市民生活部

重点化方針

市民の暮らしをより便利で快適なものとする

重点的施策1

- ①自治会の活性化の取り組みを支援する。
- ②地域コミュニティの活性化を進める。

主な取組み

- ①自治会の加入促進活動を支援する。
- ②地区公民館のふれあいセンター化を促進する。
- ③支所における地域支援を強化する。

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|---------|-----------------------------|----------|---------------------|
| | H1 | 拡大 | まちづくり活動推進費 (自治会活動の手引き作成) | 自治振興課 | 102,204 千円 (661) |
| H2 | 新規 | 滑石支所整備費 | 西浦上支所 | 2,354 千円 | |

重点的施策2

- ①国体でのノウハウや成果を活かして、スポーツイベントを開催する。
- ②国際大会、全国大会やプロスポーツなどの試合、スポーツキャンプや合宿等を誘致する。

主な取組み

- ①東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップのキャンプ誘致に取り組む。
- ②被爆75周年長崎平和マラソンの開催を検討する。

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|----------------------|---------------------------|-----------|--------|
| | G3 | 継続 | 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致推進費 | スポーツ振興課 | 577 千円 |
| G3 | 継続 | ラグビーワールドカップキャンプ誘致推進費 | スポーツ振興課 | 16,965 千円 | |
| G3 | 新規 | ラグビーワールドカップキャンプ交流事業費 | スポーツ振興課 | 11,514 千円 | |

重点的施策3

- ①人権侵害を未然に防ぐ取り組みを進める。
- ②女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを推進する。

主な取組み

- ①住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度の導入
- ②女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む団体を支援
(啓発、情報発信、インセンティブ付与の検討)

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------------------------------------|-------------------------|------------------|----------------------|
| | H2 | 拡大 | 戸籍システム運営費 (本人通知制度事業) | 市民課 | 29,908 千円 (4,104) |
| F1 | 拡大 | 人権啓発活動費 (講座に係る講師謝礼金、講座広報用チラシ作成) | 人権男女共同参画室 | 3,096 千円 (25) | |
| F1 | 継続 | 男女共同参画推進費啓発広報費 | 人権男女共同参画室 | 2,398 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部局等の重点的取組み

原爆被爆対策部

重点化方針

- ・核兵器のない世界の実現に貢献する
- ・被爆者援護を充実する

重点的施策1

被爆の実相を継承する

主な取組み

- ・家族・交流証言活動の実践と制度の充実
- ・子育て・就労世代の平和意識高揚への取り組み
- ・青少年への継承の進化(少年平和と友情の翼)
- ・米国国立公文書館における原爆資料の調査収集活動及び収集資料の活用
- ・市民団体と協力の企画展の開催
- ・長崎原爆遺跡の指定文化財への取り組み

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|--------------------------------|------------------------|-----------|
| | B1 | 継続 | | 「語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)」推進費 | 被爆継承課 |
| B1 | 新規 | | 「ぴーすとーくカフェ」開催費 | 被爆継承課 | 250 千円 |
| B1 | 継続 | | 青少年平和交流費(少年平和と友情の翼) | 被爆継承課 | 3,719 千円 |
| B1 | 継続 | | 米国国立公文書館原爆資料調査費 | 被爆継承課 | 3,698 千円 |
| B1 | 継続 | | 原爆資料館運営費 (企画展示開催) | 被爆継承課 | 1,650 千円 |
| B1 | 継続 | | 長崎原爆遺跡調査・研究費 | 被爆継承課 | 12,522 千円 |
| B1 | 新規 | | 【補助】被爆建造物等保存整備事業費 旧城山国民学校校舎 | 被爆継承課 | 30,000 千円 |

重点的施策2

被爆地として平和発信を強化する

主な取組み

- ・核兵器廃絶長崎連絡協議会事業の推進
- ・伊勢志摩サミット・外相会合及び平和首長会議(第9回総会)に向けた取り組み
- ・長崎平和特派員への支援
- ・米国マンハッタン計画関連施設国立歴史公園化にかかる専門家フォーラムへの参画

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---|----------------------------------|-----------------|
| | B2 | 拡大 | | 平和祈念式典行事費 (附属機関の新設、式典会場の環境改善) | 調査課 |
| B2 | 継続 | | 核兵器廃絶長崎連絡協議会負担金 | 平和推進課 | 5,000 千円 |
| B2 | 継続 | | ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会負担金 (伊勢志摩サミット及び平和首長会議総会に向けた取り組み) | 平和推進課 | 3,516 千円 |
| B2 | 拡大 | | 平和特派員ネットワーク費 (ニューヨークでの「交流証言」等の実施) | 平和推進課 | 680 (500) 千円 |
| B2 | 継続 | | 平和推進活動費 (専門家フォーラムへの参画) | 平和推進課 | 998 千円 |

| | |
|--------|-------------|
| 重点的施策3 | 被爆者援護の充実を図る |
|--------|-------------|

| | |
|--------|---|
| 主な取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・原援協、八者協を通じた国への要望活動 ・原子爆弾放射線影響研究会による研究・調査 ・被爆体験者の医療費助成対象疾患の拡充 ・被爆二世健診の充実 |
|--------|---|

| | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|----|---------------|------|----------------------|---------------------|------------|
| | 予算化する 主な事業 | F5 | 継続 | 長崎原子爆弾被爆者援護強化対策協議会費 | 調査課 |
| F5 | | 継続 | 広島・長崎原爆被爆者援護対策促進協議会費 | 調査課 | 569 千円 |
| F5 | | 継続 | 原子爆弾放射線影響研究会費 | 調査課 | 583 千円 |
| F5 | | 継続 | 長崎被爆体験者支援費 | 調査課 | 666,421 千円 |
| F5 | | 継続 | 被爆二世健康診断費 | 援護課 | 38,787 千円 |
| | | | | | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

福祉部

重点化方針

住み慣れた地域で、自分らしく最期まで暮らせるよう、その方の身体状況に合わせて、必要な医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供される長崎市に合った地域包括ケアシステムを構築する。

重点的施策1

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、在宅で生活する重度化した高齢者や認知症高齢者が増加することが見込まれるため、在宅医療、介護サービスの充実を図る。

主な取組み

- ・地域ごとの多職種連携チーム結成
- ・医療介護の連携窓口であるまちなか라운ジの機能強化(相談、研修、医師との連携など)
- ・多職種連携を強化するためのツール作成
- ・地域で看取りができる環境づくり(人材育成、医師会との連携など)
- ・認知症の早期発見と予防に向けた仕組み構築(初期支援チームの設置)
- ・認知症高齢者や家族が気軽に集い・相談できる認知症カフェの拡大
- ・医療、介護、地域関係者などによる市全体の地域ケア会議の開催

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|---------------------------------|----------------|--------------------|-----------|
| | F2 | 新規 | 在宅医療・介護連携推進事業費 | 地域包括ケアシステム推進室 | 34,070 千円 |
| F2 | 拡大 | 認知症総合支援事業費 (認知症初期集中支援チームの設置) | 高齢者すこやか支援課 | 77,619 (686) 千円 | |
| F2 | 拡大 | 認知症総合支援事業費 (認知症カフェの拡大) | 高齢者すこやか支援課 | 77,619 (118) 千円 | |
| F2 | 継続 | 地域包括ケア推進協議会費 | 地域包括ケアシステム推進室 | 4,285 千円 | |

重点的施策2

元気高齢者、虚弱高齢者がその状態をいつまでも維持または改善し、生きがいを持って暮らせるようリハビリ・予防・生活支援を一体的に提供する。

主な取組み

- ・居場所づくり、生きがいづくりのための高齢者ふれあいサロンの拡充
- ・健康づくり、生きがいづくりのため、ねんりんピック競技を継続して行っていただける取り組み(ふれあいサロンでの実施や介護予防教室での開催等)
- ・生活支援コーディネーターの配置に向けた体制整備
- ・長く元気で応援事業の実施

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------------|--------------------------------|------------|----------------------|
| | F2 | 拡大 | 地域活動支援事業費 (高齢者ふれあいサロン事業の拡大) | 高齢者すこやか支援課 | 19,486 (1,668) 千円 |
| F2 | 継続 | 長く元気で応援事業費 | 高齢者すこやか支援課 | 1,480 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載します。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

市民健康部

重点化方針

市民が健やかで安心して暮らせるようにする

重点的施策1

医療機関の連携促進、在宅医療の充実等の取組みへの支援

主な取組み

- ・地域医療審議会における医療機能の分化・連携(地域医療構想)の構築に向けた協議の実施
- ・新市立病院全面開院に向けた体制整備の確実な推進
- ・在宅医療の充実に重要な役割を担うかかりつけ医をもつことの普及啓発

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|----------------|---------|--------------|----------|
| | F9 | 継続 | 地域医療対策費 | 地域医療室 | 1,107 千円 |
| F9 | 継続 | 長崎市立病院機構評価委員会費 | 地域医療室 | 588 千円 | |
| F9 | 継続 | 長崎市立病院機構運営費負担金 | 地域医療室 | 1,221,792 千円 | |

重点的施策2

特定健診やがん検診の推進をはじめとする、第2次健康長崎市民21の取組み促進

主な取組み

- ・健診等受診率向上を図るためのモデル事業による地域の特性に応じた周知・啓発の継続と成果分析
- ・受診率向上のためのがん検診未受診者への個別受診勧奨の実施
- ・健康づくり推進員の育成及び地域での自主的な健康づくり活動の推進
- ・フッ化物洗口実施施設の増加、要介護高齢者等に対する口腔ケアの普及

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|-------------|----------------|------------|----------|
| | F7 | 継続 | 特定健康診査受診率向上対策費 | 国民健康保険課 | 8,531 千円 |
| F7 | 継続 | がん予防対策費 | 健康づくり課 | 415,843 千円 | |
| F7 | 継続 | 健康長崎市民21普及費 | 健康づくり課 | 1,721 千円 | |
| F7 | 継続 | 地域健康づくり推進費 | 健康づくり課 | 2,179 千円 | |
| F7 | 継続 | フッ化物洗口推進費 | 健康づくり課 | 4,484 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部局等の重点的取組み

こども部

重点化方針

安心して子どもを生き育てられる環境を充実させる

重点的施策1

教育・保育施設の量的拡大、質的向上及び地域での子どもの居場所づくりを推進する

主な取組み

- ・保育所施設整備、認定こども園移行推進及び事業所内保育所の設置勸奨等による受け入れ児童数の拡大
- ・放課後児童クラブの施設整備及び運営の支援
- ・放課後こども教室の拡充

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|---------------------------------------|---------------------------|---------------------|-----------|
| | F4 | 新規 | 【単独】児童福祉施設整備事業費(市立認定こども園) | 幼児課 | 25,000 千円 |
| F4 | 継続 | 認定こども園移行支援費補助金 | 幼児課 | 830 千円 | |
| F4 | 継続 | 認定こども園移行研修費 | 幼児課 | 315 千円 | |
| F4 | 継続 | 放課後児童健全育成費 | こどもみらい課 | 1,138,267 千円 | |
| F4 | 新規 | 【補助】児童福祉施設整備事業費 放課後児童クラブ | こどもみらい課 | 111,805 千円 | |
| F4 | 拡大 | 放課後子ども教室推進費 (放課後子ども教室を実施する小学校区数の増) | こどもみらい課 | 8,450 (4,369) 千円 | |

重点的施策2

子どもを望む人や子育て家庭の負担の軽減と支援の充実を図る

主な取組み

- ・不妊治療に対する支援
- ・産前産後支援の充実
- ・乳幼児医療費の対象年齢拡大
- ・多子世帯への保育料の軽減
- ・子育てへの父親の参加促進及び仲間づくりの推進

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|---|--------------------------------------|-----------------------|-------------------|
| | F1 | 拡大 | 親育ち学びあい事業費 (ファシリテーターの養成と講座の開催回数増) | 子育て支援課 | 3,977 (946) 千円 |
| F4 | 拡大 | 特定不妊治療助成費 (初回治療費の増及び男性不妊治療費に対する新規助成) | こども健康課 | 55,870 (10,500) 千円 | |
| F4 | 新規 | 産前産後支援事業費 | こども健康課 | 7,651 千円 | |
| F4 | 新規 | 子ども医療対策費 | 子育て支援課 | 753,692 千円 | |
| F4 | 継続 | 私立幼稚園就園奨励費補助金 | 幼児課 | 342,985 千円 | |
| F4 | 新規 | 赤ちゃんの駅推進費 | 子育て支援課 | 300 千円 | |
| F4 | 新規 | 子育てパパ講座開催費 | 子育て支援課 | 433 千円 | |
| F4 | 新規 | 子育て住まいづくり支援費補助金 | 子育て支援課 住宅課 | 20,052 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

環境部

重点化方針

環境負荷の少ない持続可能なまち「長崎」を作っていく
 (1)再生可能エネルギーの導入促進、『ながさきエコライフ』の取組みの推進(低炭素型社会)
 (2)廃棄物の適正処理、ごみの減量、リサイクルの推進(循環型社会)
 (3)自然と共生した社会づくり(自然共生型社会)

重点的施策1

持続可能な低炭素型社会の構築

主な取組み

- ・『ながさきエコライフ』の取組みの浸透と拡大(「ながさきエコライフ・フェスタ」「ながさきエコライフ・ウィーク」「ながさきエコネット」)
- ・市民主体の環境活動の拠点「(仮称)サステナプラザながさき」の開設による市民環境活動の活性化
- ・小、中学校における環境教育の推進
- ・新東工場のエネルギーセンター化の検討
- ・太陽光ほか、再生可能エネルギーの研究・検討

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|--|-----------------------------------|----------------------|----------------------|
| | D5 | 拡大 | 地球温暖化対策市民運動推進費 (市民環境活動拠点活性化事業) | 環境政策課 | 24,744 (9,800) 千円 |
| D5 | 拡大 | 地球温暖化対策市民運動推進費 (「ながさきエコネット」参加学校活動支援費) | 環境政策課 | 24,744 (1,890) 千円 | |
| D5 | 拡大 | 地球温暖化対策市民運動推進費 (間伐材利用認定証作製費) | 環境政策課 | 24,744 (1,937) 千円 | |
| D2 | 継続 | 小中学校リサイクル活動推進費 | 廃棄物対策課 | 1,000 千円 | |

重点的施策2

廃棄物の適正処理、ごみの減量、リサイクルの推進

主な取組み

- ・新西工場稼働に伴うごみ分別品目の変更(プラ製品・ゴム製品・革製品を燃やせないごみから燃やせるごみへ)
- ・ごみ処理施設における展開検査の強化、三京クリーンランドでの資源物回収促進
- ・小型家電、古布等の拠点回収の拡充
- ・し尿積み替え基地の確保、し尿収集運搬体制の見直し
- ・下水道投入を見据えたし尿処理計画の策定
- ・し尿処理業合理化学業計画の策定
- ・新東工場建設基本計画の策定

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|-------------------------------------|-----------------|------------------------|-----------|
| | D2 | 臨時 | 分別収集推進費 | 廃棄物対策課 | 11,528 千円 |
| D2 | 拡大 | 三京クリーンランド埋立処分場維持管理費 (マットレス等解体事業) | 三京クリーンランド埋立処分場 | 189,594 (600) 千円 | |
| D2 | 臨時 | 資源物拠点回収モデル事業費 | 廃棄物対策課 | 295 千円 | |
| D2 | 拡大 | し尿汲取費 (し尿運搬等委託料等) | 環境政策課 廃棄物対策課 | 123,958 (82,340) 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部局等の重点的取組み

商工部

重点化方針

- ①縮小する地域マーケットを賄うために特に食品加工業や商業等のサービス産業のアウトバウンド・インバウンド対策を強化する
- ②企業活動の源である優秀で多様な人材を企業が確保し、内部で育成できるように支援する

重点的施策1

アウトバウンド・インバウンド対策の強化

主な取組み

アウトバウンド対策

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---------------|---------|-----------------------|
| | C2 | 継続 | 貿易対策活動費 | 産業雇用政策課 | 2,489 千円 |
| | C2 | 継続 | 長崎港活性化センター補助金 | 産業雇用政策課 | 4,000 千円 |
| | C2 | 拡大 | 長崎こだわり逸品育成支援費 | 商業振興課 | 18,364 (14,087) 千円 |
| | C2 | 継続 | 物産振興推進費 | 商業振興課 | 6,094 千円 |
| | C2 | 継続 | 販路開拓支援費補助金 | 商業振興課 | 5,000 千円 |
| | C2 | 継続 | アジア等販路拡大推進費 | 商業振興課 | 4,500 千円 |

主な取組み

インバウンド対策

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---------------------|-------|----------|
| | C1 | 継続 | 観光イメージアップ土産品開発支援事業費 | 商業振興課 | 4,287 千円 |
| | C1 | 新規 | まちなか商店街誘客事業費補助金 | 商業振興課 | 5,000 千円 |
| | C1 | 継続 | 商業活性化支援費補助 | 商業振興課 | 3,728 千円 |

主な取組み

製品・サービスの付加価値向上

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|--------------------------------------|---------|-----------|
| | C1 | 継続 | 長崎水産練り製品ブランド化支援事業費 | 商業振興課 | 775 千円 |
| | C2 | 継続 | HACCP(ハサップ)認証推進費 | 産業雇用政策課 | 1,708 千円 |
| | C3 | 継続 | ものづくり支援費(うち、挑戦型共同研究開発支援補助) | 産業雇用政策課 | 10,000 千円 |
| | C3 | 継続 | 優れモノ認証費 | 産業雇用政策課 | 1,741 千円 |
| | C3 | 継続 | 海洋再生エネルギー産業集積推進費補助金(うち、事業可能性調査に係る補助) | 産業雇用政策課 | 1,000 千円 |
| | C3 | 継続 | 中小企業サポート活動費(うち、中小企業コーディネーター) | 産業雇用政策課 | 2,325 千円 |

| | |
|--------|------------|
| 重点的施策2 | 人材確保及び育成支援 |
|--------|------------|

| | |
|-------|-------------------|
| 主な取組み | 地元就職及びUIJターン就職の推進 |
|-------|-------------------|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|-----------------------------|---------|-------------------|
| | C3 | 拡大 | 産業育成支援費 (地場企業知名度アップ支援事業) | 産業雇用政策課 | 3,527 (732) 千円 |
| | C3 | 継続 | 学生地元就職促進費 | 産業雇用政策課 | 1,000 千円 |
| | C3 | 継続 | UIJターン就職促進費 | 産業雇用政策課 | 1,863 千円 |
| | C3 | 継続 | 中小企業サポート活動費(うち、雇用コーディネーター) | 産業雇用政策課 | 2,372 千円 |

| | |
|-------|-------------|
| 主な取組み | 人材育成に向けた取組み |
|-------|-------------|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---|---------|----------|
| | C3 | 継続 | ものづくり支援費(うち、長崎地域造船造機技術研修事業補助及び長崎工業会補助) | 産業雇用政策課 | 5,621 千円 |
| | C3 | 継続 | 海洋再生エネルギー産業集積推進費補助金(うち、研修受講・資格取得にかかる補助) | 産業雇用政策課 | 2,600 千円 |
| | C3 | 継続 | 中小企業サポート活動費(うち、造船造機技術指導員) | 産業雇用政策課 | 2,325 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

文化観光部

重点化方針

1. 観光資源となる歴史・芸術文化・食・文化財・景観を保存・活用し、にぎわいの創出により、交流人口の拡大を図る。
2. 滞在型・通年型・交流型観光の推進等により、観光消費額の増加を促し、雇用の創出につなげる。

重点的施策1

長崎独自の歴史・文化等の資源磨き

主な取組み

・歴史文化基本構想に基づく文化財の現状把握、保存整備及び長崎学の調査研究と活用

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|---------------------------------|-------------|-----------|----------|
| | A1 | 新規 | 文化財等3D計測事業費 | 文化財課 | 7,063 千円 |
| A1 | 継続 | ながさき歴史の学校費 | 文化財課 | 2,081 千円 | |
| A1 | 継続 | 歴史的風致維持向上計画策定費 | 文化財課 | 4,112 千円 | |
| A1 | 継続 | 文化財保存整備事業費 国指定史跡高島炭鉱跡高島北溪井坑跡 | 文化財課 | 14,400 千円 | |
| A1 | 新規 | 長崎学調査研究費 | 文化財課 | 6,584 千円 | |

主な取組み

・世界新三大夜景の強みを活かした夜景観光の推進

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|---------------|---------------|----------|-----------|
| | A3 | 新規 | 夜景観光推進基本計画策定費 | 観光政策課 | 19,285 千円 |
| A3 | 新規 | 世界・日本新三大夜景推進費 | 観光政策課 | 4,729 千円 | |

主な取組み

・姉妹都市や市民友好都市との交流拡大

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------------|----------|----------|----------|
| | A4 | 継続 | 子どもゆめ体験費 | 国際課 | 9,263 千円 |
| A4 | 継続 | 自治体職員協力交流費 | 国際課 | 2,415 千円 | |

主な取組み

・新たな文化施設整備の早期着手と芸術文化事業の推進

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|--|-------|---------------------|
| | G4 | 拡大 | マダムパタフライフェスティバル開催費負担金 (マダムパタフライコンクール) | 文化振興課 | 4,800 (3,000) 千円 |

| | | | | |
|-------|----------------------|--|--|--|
| 主な取組み | ・朝型観光推進のための地域の朝市等の活用 | | | |
|-------|----------------------|--|--|--|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|------------|-------|----------|
| | A3 | 継続 | 国内観光客誘致対策費 | 観光推進課 | 2,000 千円 |

| | | | | |
|-------|----------------------------|--|--|--|
| 主な取組み | ・出島保存活用計画に基づく国指定史跡の拡大と魅力向上 | | | |
|-------|----------------------------|--|--|--|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|----------------------------------|---------|-----------------------|
| | A1 | 新規 | 出島復元建造物6棟完成記念事業費 | 出島復元整備室 | 2,986 千円 |
| | A1 | 拡大 | 出島運営費 (セーラム市協力提携調査及び東アジア考古学会) | 出島復元整備室 | 124,791 千円 (427) |
| | A1 | 拡大 | 出島運営費 (出島対岸エリアにおけるバス誘導・案内員配置) | 出島復元整備室 | 124,791 千円 (8,673) |
| | A1 | 継続 | 観光施設整備事業費(出島) | 出島復元整備室 | 60,000 千円 |
| | A1 | 継続 | 保存活用計画策定費 ※史跡拡大に係る文化庁との協議含む | 出島復元整備室 | 2,576 千円 |
| | A1 | 継続 | 旧出島橋調査費 | 出島復元整備室 | 3,537 千円 |
| | A1 | 継続 | 出島復元整備事業費(建造物復元) | 出島復元整備室 | 464,400 千円 |
| | A1 | 継続 | 出島復元整備事業費(出島表門橋) | 出島復元整備室 | 106,500 千円 |

| | |
|--------|--------------------------|
| 重点的施策2 | ビッグデータ等の分析に基づくマーケティングの推進 |
|--------|--------------------------|

| | | | | |
|-------|---|--|--|--|
| 主な取組み | ・ICTを活用した観光サービス提供の検討と情報収集の強化 ・ビッグデータ等を活用した観光動向分析に基づくシティ・プロモーションの実施 | | | |
|-------|---|--|--|--|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|-------------------------------------|----------------|---------------------|
| | A3 | 拡大 | 観光動向調査費 (国内・外国人観光動向調査) | 観光政策課 | 7,682 千円 (5,000) |
| | A3 | 新規 | DMO推進費(ビッグデータ分析・プロモーション戦略策定等に係る補助金) | 観光政策課 観光推進課 | 17,800 千円 |

| | | | | |
|-------|---|--|--|--|
| 主な取組み | ・祭りの活用や音楽イベント、スポーツコンベンションの誘致強化による通年型観光の推進 | | | |
|-------|---|--|--|--|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---------------|-------|-----------|
| | A3 | 継続 | コンベンション開催費補助金 | 観光推進課 | 11,088 千円 |

| | | | | |
|-------|---|--|--|--|
| 主な取組み | ・交通事業者や旅行サイト、宿泊・観光施設と連携した官民協働による誘致の推進 ・広域連携による周遊型観光の推進 | | | |
|-------|---|--|--|--|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|------------------------------------|-------|-----------|
| | A3 | 継続 | 交通事業者連携事業費(長崎デスティネーションキャンペーン事業負担金) | 観光推進課 | 12,286 千円 |

| | |
|--------|------------------|
| 重点的施策3 | 受入態勢の整備とおもてなしの充実 |
|--------|------------------|

| | |
|-------|----------------------|
| 主な取組み | ・二つの世界遺産(候補)の受入態勢の整備 |
|-------|----------------------|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|-------------|--------------------------|----------------|--------------------|
| | A3 | 拡大 | 世界遺産観光客受入費 (構成資産周辺調査) | 観光政策課 観光推進課 | 57,003 (500) 千円 |
| A3 | 新規 | 軍艦島資料館移設整備費 | 観光政策課 | 5,500 千円 | |

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 主な取組み | ・外国人観光客の受入態勢の整備と消費税免税制度を活用した観光消費の拡大 |
|-------|-------------------------------------|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|----------------------------------|-------|-----------|
| | A3 | 継続 | アジア・国際観光客誘致対策費 | 観光推進課 | 34,633 千円 |
| | A3 | 新規 | 外国人観光客おもてなし施設運営費 | 観光推進課 | 11,719 千円 |
| | A3 | 拡大 | 外国人観光客受入推進事業費補助金 (誘致活動に対する補助) | 観光推進課 | 20,000 千円 |
| | A3 | 継続 | 長崎港クルーズ客船受入委員会負担金 | 観光推進課 | 6,200 千円 |

| | |
|-------|--|
| 主な取組み | ・着地型旅行商品(長崎さるく、浪漫ながさき等)の販売促進による観光消費の拡大 |
|-------|--|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|--------------------|-------------|----------|-----------|
| | A3 | 継続 | 長崎さるく運営費補助金 | 観光推進課 | 56,315 千円 |
| A3 | 継続 | 長崎国際観光コンベンション協会補助金 | 観光推進課 | 4,907 千円 | |

| | |
|-------|----------------|
| 主な取組み | ・観光産業分野の人材育成支援 |
|-------|----------------|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|----------------------|----------------|----------|
| | A3 | 新規 | DMO推進費(セミナー開催に係る補助金) | 観光政策課 観光推進課 | 1,200 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部局等の重点的取組み

水産農林部

| | |
|-------|--|
| 重点化方針 | 農林水産業が魅力ある産業となる ・農業者、漁業者世帯の所得を他産業に負けない所得とする(年間所得600万円) ・集落(浜)単位の総所得を5年間で1割以上アップを目指す。 |
|-------|--|

| | |
|--------|--|
| 重点的施策1 | ◎所得向上に向けた事業への支援 ・地域住民自らが策定した地域計画である「人・農地プラン」や「浜の活力再生プラン」の実現に向けた地域ぐるみのハード・ソフト事業を推進する。 ・長崎の強みを更に強化する。 ・生産者と流通・販売業者等が協働した販売戦略、6次産業化を推進する。 ・観光素材として「ながさきの食」の情報発信を強化する。 |
|--------|--|

| | |
|-------|---|
| 主な取組み | ≪農業≫ ・農地中間管理事業による積極的な農地集積・流動化の推進 ・生産コストの縮減や労働力の省力化のための生産基盤施設の整備と設備等の充実への支援 ・びわ産地振興対策として長崎びわ産地活性化推進協議会の運営強化 ・地域ぐるみによる有害鳥獣対策の充実(食肉活用等) ≪水産業≫ ・生産コストの縮減や労働力の省力化のための漁港・漁場施設の整備と設備等の充実への支援 ・適切な水産資源の管理のため、漁場環境の保全、再生と効果的な種苗放流への支援 ・付加価値の高い養殖魚づくりと養殖業の振興 ≪食関連≫ ・付加価値の高い、長崎らしい商品(産品)、料理の開発、提供への支援 ・生産者と加工業者等が連携した6次産業化への支援 ・未利用、低利用資源の活用 ・重点3品目(なつたより、出島ばらいろ、長崎の魚)を中心に食と観光の融合による取り組み推進 ・観光関連者等と連携したイベント(旅行商品)支援 ・観光素材としての「ながさきの食」をテーマとした集客スポットの整備検討 |
|-------|---|

| | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|----|---------------|------|--|------------------|----------------------|
| | 予算化する 主な事業 | C5 | 新規 | 長崎びわ産地振興対策事業費補助金 | 農業振興課 |
| C5 | | 継続 | 有害鳥獣対策費 | 農業振興課 | 54,520 千円 |
| C5 | | 継続 | 農業振興施設整備事業費補助金【単独】担い手農家支援施設 | 農業振興課 | 57,363 千円 |
| C6 | | 新規 | 漁場施設機能保全事業費 | 水産振興課 | 17,300 千円 |
| C6 | | 新規 | 【補助】産地水産業強化支援事業費補助金(漁協等施設整備) | 水産振興課 | 296,415 千円 |
| C6 | | 新規 | 【補助】6次産業化ネットワーク活動交付金(加工・販売施設等整備) | 水産振興課 | 100,000 千円 |
| C6 | | 継続 | 公共建築物等木質化推進事業費 | 農林整備課 | 2,000 千円 |
| C7 | | 拡大 | 「長崎のおさかな」PR・おもてなし事業費 (旬の魚・ご当地グルメでおもてなし) | 水産農林政策課 | 10,587 (5,986) 千円 |
| C7 | | 新規 | 食の拠点(仮称:お魚センター)の検討 | 水産農林政策課 | - 千円 |

| | |
|--------|---|
| 重点的施策2 | <p>◎担い手の育成、確保への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の担い手となる新規就業者、後継者を含む地域リーダーを育成、確保する。 ・担い手減少に伴う労力支援システムを構築する。 ・雇用につながる法人等の農業、漁業への参入を推進する。 |
|--------|---|

| | |
|-------|--|
| 主な取組み | <p>《共通》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手や定年者を含む新規就業者への就業初動期の支援 ・多様な研修ニーズに対応する研修制度の確立 ・担い手のサポートのワンストップ対応のための体制強化(農協、漁協等との連携) ・新規就業者の受入地域の確保と体制整備の推進 ・地域ぐるみの異業種連携によるグリーンツーリズム団体の活動支援 <p>《農業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働力の確保や耕作放棄地解消のための企業参入や農福連携などの推進 ・認定農業者、青年農業者、農業生産法人等地域農業のリーダーが実施する農作業受託事業の推進 ・農業ヘルパー等地域労力補完システムの充実 ・地元を回る栽培指導員の配置検討 ・安定的な供給体制など集落営農組織づくりへの支援 <p>《水産業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協業化、複合化の推進により、収益性の高い漁業経営体づくりの実現 |
|-------|--|

| | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|----|---------------|------|----------------------------|---------------|-----------|
| | 予算化する 主な事業 | C5 | 新規 | 青壮年新規就農給付金事業費 | 農業振興課 |
| C5 | | 新規 | 農業振興計画策定費 | 農業振興課 | 1,515 千円 |
| C5 | | 新規 | 栽培技術指導支援事業費 | 農業振興課 | 300 千円 |
| C5 | | 継続 | 農業振興施設整備事業費補助金(農業新規参入促進施設) | 農業振興課 | 17,750 千円 |
| C6 | | 継続 | 新規漁業就業促進費 | 水産振興課 | 2,597 千円 |
| C7 | | 継続 | グリーンツーリズム推進費 | 農業振興課 | 7,219 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部局等の重点的取組み

土木部

重点化方針

地方創生、コンパクト＋ネットワークに資する道路事業の推進

重点的施策1

・人の流れを強くし、経済の好循環に資する都市基盤施設の充実
 ・交流機能の向上と受入環境の強化を図る道路の整備

主な取組み

・広域幹線道路の整備促進(高速道路、国道34号線、外環状線、南北幹線道路、西彼杵道路等)
 ・観光地の歩行環境向上のための道路整備(まちなか地区、平和公園地区、長崎駅周辺)

| 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 | 予算化する 主な事業 |
|------|------|-----------------------------|-------|------------|---------------|
| | | | | | |
| E7 | 継続 | 幹線道路整備推進費 (要望活動関連経費等) | 土木企画課 | 5,321 千円 | |
| A2 | 継続 | 道路新設改良事業費(浜町伊良林1号線) | 土木維持課 | 31,000 千円 | |
| A2 | 継続 | 道路新設改良事業費(銅座界わい路地魅力向上) | 土木維持課 | 20,000 千円 | |
| A2 | 新規 | 道路新設改良事業費(古町麴屋町1号線) | 土木維持課 | 10,000 千円 | |
| A2 | 継続 | 道路新設改良事業費(平和公園周辺環境整備) | 土木維持課 | 83,000 千円 | |
| A2 | 継続 | 道路新設改良事業費(岩原川周辺環境整備) | 土木維持課 | 53,000 千円 | |
| E7 | 継続 | 都市計画街路整備事業費(新地町稲田町線) | 道路建設課 | 116,850 千円 | |
| E7 | 継続 | 都市計画街路整備事業費(銅座町松が枝町線(銅座工区)) | 道路建設課 | 212,000 千円 | |
| E7 | 新規 | 都市計画街路整備事業費(大黒町恵美須町線) | 道路建設課 | 27,000 千円 | |
| E7 | 継続 | 都市計画街路整備事業費(片淵線(新大工工区)) | 道路建設課 | 11,500 千円 | |
| A2 | 新規 | 駐車場施設整備事業費(松が枝町駐車場) | 土木企画課 | 123,200 千円 | |

| | |
|--------|--|
| 重点的施策2 | <ul style="list-style-type: none"> ・斜面市街地の定住対策としての生活環境の向上 ・ネットワークに資する生活道路の整備 |
|--------|--|

| | |
|-------|--|
| 主な取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・斜面地の生活環境の改善(車みち整備、斜面地の歩行者移動支援機器設置の社会実験) ・地域と地域をつなげる道路整備(清水町白鳥町1号線、虹ヶ丘町西町線、江平浜平線、中川鳴滝3号線、大橋町赤迫1号線等) |
|-------|--|

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|--------------------------------|-------------------------|-------------------|------------|
| | E8 | 継続 | 道路新設改良事業費(車みち整備事業費) | 道路建設課 | 302,100 千円 |
| | E8 | 新規 | 歩行者移動支援システム整備事業費(十善寺地区) | 土木企画課 | 6,000 千円 |
| | E7 | 継続 | 道路新設改良事業費(清水町白鳥町1号線) | 道路建設課 | 243,000 千円 |
| | E7 | 継続 | 道路新設改良事業費(虹ヶ丘町西町1号線) | 道路建設課 | 163,000 千円 |
| | E7 | 継続 | 道路新設改良事業費(江平浜平線) | 道路建設課 | 158,700 千円 |
| | E7 | 継続 | 道路新設改良事業費(中川鳴滝3号線) | 道路建設課 | 66,000 千円 |
| | E7 | 継続 | 道路新設改良事業費(相川町四杖町1号線) | 道路建設課 | 102,000 千円 |
| | E7 | 継続 | 道路新設改良事業費(土井首町磯道町線) | 道路建設課 | 38,400 千円 |
| | E8 | 継続 | 道路新設改良事業費(大橋町赤迫1号線) | 道路建設課 | 175,000 千円 |
| E7 | 拡大 | 幹線道路整備推進費 (土木計画支援システム関連経費等) | 土木企画課 | 1,600 (600) 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部局等の重点的取組み

都市計画部

重点化方針

「集約(コンパクト)と連携(ネットワーク)」による、にぎわいと暮らしやすさを実感できる都市づくり

重点的施策1

暮らしやすいまちの形をつくります

主な取組み

- 1 コンパクトなまちづくりに向けた取組み
- 2 各拠点地域と生活地区をつなぐ公共交通のネットワーク化
- 3 良好な市街地の形成
- 4 都市計画道路東長崎縦貫線の整備

| 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|------|------|---------------------------|------------------|--------------|
| | | | | |
| A2 | 継続 | 歴史的地区環境整備事業費(唐人屋敷顕在化) | まちづくり推進室 | 16,800 千円 |
| E5 | 継続 | 新大工町地区市街地再開発事業 | まちづくり推進室 | 183,910 千円 |
| E5 | 継続 | 浜町地区市街地再開発事業 | まちづくり推進室 | - 千円 |
| E5 | 継続 | 土地区画整理事業費(東長崎平間・東地区) | 東長崎土地区画 整理事務所 | 1,050,500 千円 |
| E5 | 臨時 | 都市計画マスタープラン改訂費(立地適正化計画策定) | 都市計画課 | 23,900 千円 |
| E7 | 継続 | 離島航路維持対策費 | 都市計画課 | 90,842 千円 |
| E7 | 継続 | 公共交通空白地域対策費 | 都市計画課 | 11,953 千円 |

重点的施策2

都市の魅力を高める施策を推進します

主な取組み

- 1 九州新幹線西九州ルート、JR長崎本線連続立体交差事業、長崎駅周辺土地区画整理事業の着実な整備
- 2 長崎駅周辺エリアにおける魅力的な都市空間づくり
- 3 松が枝国際観光船埠頭の2パース化の着実な整備
- 4 世界新三大夜景の視点場となる公園の再整備

| 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|------|------|----------------------------------|----------|--------------|
| | | | | |
| A2 | 継続 | 長崎駅周辺エリアデザイン検討費 | 長崎駅周辺整備室 | 19,700 千円 |
| A3 | 継続 | 土地区画整理事業費(長崎駅周辺地区) | 長崎駅周辺整備室 | 501,961 千円 |
| A3 | 継続 | 九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金 | 長崎駅周辺整備室 | 419,792 千円 |
| A3 | 継続 | 都市計画費負担金(JR長崎本線連続立体交差事業費) | 長崎駅周辺整備室 | 1,337,550 千円 |
| E8 | 新規 | 【単独】公園施設整備事業費 稲佐山公園(スロープカー整備) | みどりの課 | 63,000 千円 |
| E8 | 継続 | 鍋冠山公園展望台(夜景観光整備) | みどりの課 | 70,000 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

建築部

重点化方針

人口減少高齢化、都市のコンパクト化に対応した住宅政策の推進
建築物、宅地の安全性の確保

重点的施策1

市営住宅の中長期更新計画の策定と計画的な更新
民間空き家対策の推進

主な取組み

- (市営住宅)
 - ・セーフティネットの再構築
 - ・管理戸数総数の削減
 - ・都市のコンパクト化と整合した更新
- (民間空き家対策)
 - ・移住定住に資する活用
 - ・地域や対象者に応じた活用策の実施
 - ・空家予防策の実施(リフォーム等)

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---------------------|-------|------------|
| | E6 | 継続 | 公営住宅建設事業費(大園団地) | 住宅課 | 375,000 千円 |
| | E6 | 継続 | 公営住宅建設事業費(塩町団地) | 住宅課 | 90,500 千円 |
| | E6 | 継続 | 公営住宅建設事業費(本河内団地) | 住宅課 | 100,400 千円 |
| | E6 | 継続 | 既設公営住宅改善事業費(矢上団地ほか) | 住宅課 | 220,000 千円 |
| | E6 | 継続 | ながさき住みよ家リフォーム補助金 | 住宅課 | 153,136 千円 |

重点的施策2

建築物・宅地の防災性の確保

主な取組み

- ・特殊建築物の耐震化の促進
- ・特殊建築物の定期報告の徹底と避難防火規定の遵守
- ・老朽危険空き家除却の支援
- ・がけ災害復旧の支援

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|---|-------|----------------------|
| | E1 | 継続 | 宅地のがけ災害対策費補助金 | 建築指導課 | 15,000 千円 |
| | E6 | 拡大 | 耐震化推進費補助金(安全・安心住まいづくり支援費) (防火改修工事補助) | 建築指導課 | 45,848 (1,500) 千円 |
| | E6 | 臨時 | 民間建築物耐震化推進費補助金 | 建築指導課 | 980,422 千円 |
| | E6 | 継続 | 老朽危険空き家除却費補助金 | 建築指導課 | 10,000 千円 |
| | E1 | 新規 | 宅地耐震化推進費 | 建築指導課 | 49,000 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

消防局

重点化方針

市民が安全・安心のために支えあう人づくり地域づくり

重点的施策1

・地域防火防災力の充実
～自らの地域は自らで守るための環境づくり～

主な取組み

- ・地域防災指導消防団員の養成
- ・高校生消防防災サポーターの育成
- ・女性消防団員の拡充と活動範囲の拡大
- ・地域や事業所と連携した団員加入促進への取組み
- ・斜面地を中心とした火災予防対策の推進(高齢者を火災から守るための取組み)

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|---------------------------------|---------------------------|-------------------|----------------------|
| | E2 | 拡大 | 団員研修費 (地域防災指導消防団員養成事業) | 予防課 | 22,651 (2,832) 千円 |
| E2 | 拡大 | 団員加入促進事業費 (高校生消防防災サポーター育成事業) | 予防課 | 1,076 (400) 千円 | |

重点的施策2

・救命率の向上
～命を守るための環境づくり～

主な取組み

- ・119番受報時や救急現場における多言語対応の推進
- ・救急車適正利用及び予防救急の推進
- ・119番受報時における市民に対する応急手当の誘導
- ・救急サポートステーションの拡充

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------------------------------|--------------------------|--------|---------------------|
| | E2 | 拡大 | 通信施設維持管理費 (多言語通訳業務委託) | 指令課 | 150,067 (130) 千円 |
| F9 | 継続 | 救急業務費 (救急車適正利用と予防救急の普及啓発) | 警防課 | 312 千円 | |
| F9 | 継続 | 救急業務費 (救急サポートステーションの拡大) | 警防課 | 320 千円 | |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

上下水道局

重点化方針

上下水道事業が将来にわたって発展的に持続するために、行政改革や広域化の検討等による運営体制の効率化を進めるとともに、老朽化した施設の更新に併せての統廃合や耐震化を積極的に進める。

重点的施策1

施設の統廃合については、水道事業においては、水道施設統合整備事業の完了を見据え、新たな統合事業の検討を行うとともに、浦上浄水場と道ノ尾浄水場の統合を進めていく。下水道事業においては、農集、漁集の公共下水道への統合を進めていく。

主な取組み

1. 浦上・道ノ尾浄水場の統合の検討
2. 新たな統合計画策定の準備(水道)
3. 下水道施設統合整備事業の着実な推進、及び処理場統合のための公共下水道(及び集落排水)事業計画の変更に向けた準備

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|--------------------------------|---------------------------|-------------------------|
| | E9 | 継続 | 北部地区浄水場統廃合検討業務 | 事業管理課 | 38,300 千円 |
| | E9 | 拡大 | 配水施設の改良事業 (減圧槽監視装置実施設計業務委託) | 給水課 | 1,055,852 千円 (9,000) |
| | E9 | 継続 | 水道施設統合整備事業 | 事業管理課 | 2,386,682 千円 |
| | D3 | 継続 | 下水道施設統合整備事業 | 事業管理課 下水道建設課 下水道施設課 | 934,744 千円 |
| | D3 | 継続 | 集落排水情報管理システム構築 | 総務課 | 30,000 千円 |

重点的施策2

施設の更新にあたっては、アセットマネジメントの策定を進めながら、水道事業においては、国の補助メニューを活用した耐震化事業、下水道事業においては長寿命化計画に基づく更新事業を進める。

主な取組み

1. 水道)老朽管、配水池等の更新・耐震化の推進
2. 下水道)長寿命化、不明水対策の推進
3. アセットマネジメント支援システム導入計画の推進

| 予算化する 主な事業 | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|------|-----------------------|------------------|--------------|
| | E9 | 継続 | 配水施設整備事業(耐震化事業・老朽管更新) | 水道建設課 | 1,800,000 千円 |
| | E9 | 継続 | 配水池等耐震化事業(水道事業) | 給水課 浄水課 | 196,780 千円 |
| | D3 | 継続 | 長寿命化・不明水対策 | 下水道建設課 下水道施設課 | 1,590,127 千円 |
| | E9 | 継続 | アセットマネジメント計画策定事業 | 事業管理課 | 9,504 千円 |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。

平成28年度 各部署等の重点的取組み

教育委員会

重点化方針

将来の夢や希望を自らの言葉で語り、実現に向けて努力する子どもを育てる

重点的施策1

- ◎「学力」を高める。
- 幼保小、小中連携を推進しながら、教職員の目的意識を高め、子どもたち一人一人の学力向上を図る。
 - ①基本的な生活習慣の定着
 - ②基礎学力の定着
 - ③特別な支援を要する児童・生徒への教育の充実
 - ④ICT機器の活用
- 教育環境の整備

主な取組み

- ・PTAとの連携による「あはは運動」、「メディアのルールづくり」等の推進
- ・あじさいBOXの充実と活用(小1～中3)
- ・小学校「寺子屋」の推進(放課後等における補充学習の推進)
- ・特別な支援を要する子どものサポートファイル、SSWの活用(継続した支援)
- ・ICT機器を活用した授業の推進
- ・適正配置・施設維持管理計画の推進

| | 基本施策 | 予算区分 | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|----|---------------|------|--------------------------------|----------|------------------------|
| | 予算化する 主な事業 | G1 | 継続 | 幼保小連携推進費 | 学校教育課 |
| G1 | | 継続 | 家庭教育充実費 | 生涯学習課 | 1,112 千円 |
| G1 | | 継続 | 学力向上推進費 | 学校教育課 | 9,718 千円 |
| G1 | | 継続 | 学力向上推進費 (長崎寺子屋事業) | 学校教育課 | - 千円 |
| G1 | | 継続 | 教職員等研究研修費 | 学校教育課 | 3,757 千円 |
| G1 | | 拡大 | 特別支援教育充実費 (特別支援教育支援員の増員) | 教育研究所 | 168,306 (36,145) 千円 |
| G1 | | 継続 | 特別支援教育充実費 (巡回相談) | 教育研究所 | 1,244 千円 |
| G1 | | 継続 | 特別支援教育充実費 (早期支援コーディネーターの配置) | 教育研究所 | 6,443 千円 |
| G1 | | 拡大 | 心の教育充実推進費 (SSWへの専門家による指導助言) | 教育研究所 | 37,306 (750) 千円 |
| G1 | | 新規 | 可搬型階段昇降機整備 | 教育研究所 | 1,600 千円 |
| G1 | | 拡大 | 教科書・指導書購入費(中学校デジタル教科書) | 教育研究所 | 64,422 (25,209) 千円 |
| G1 | | 臨時 | 電子黒板整備 | 教育研究所 | 15,300 千円 |
| G1 | | 継続 | 小中学校適正配置推進事業費 | 施設課 | 170 千円 |
| G1 | | 継続 | 仁田佐古小校舎等建設 | 施設課 | 167,900 千円 |
| G1 | | 新規 | 外海地区中学校校舎等建設 | 施設課 | 55,100 千円 |

| | |
|--------|---|
| 重点的施策2 | ◎「社会性」を育む。 ○長崎市の特性や時代の流れを踏まえた体験学習を推進する。 ①読書活動の充実 ②平和教育の見直し ③集団・交流体験の推進 ④ながさき体験活動の推進(郷土愛) ⑤英語でおもてなしのできる国際理解教育の推進 |
|--------|---|

| | |
|-------|--|
| 主な取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭・学校司書・図書ボランティアの活動の充実 ・木の香りのする学校図書館の整備 ・平和教育見直し部会の設置(教諭、平和推進室、SC) ・日吉自然の家の宿泊施設メニューの充実 ・地域行事への参加促進(土曜日の活用) ・世界遺産をはじめ「長崎の宝」の発見発信 ・副読本(社会科)の見直し ・フィールドワークの推進(世界遺産、科学館、歴史など) ・英語教育・国際理解教育の推進 |
|-------|--|

| | 基本施策 | | 事業名 | 担当所属名 | 予算額 |
|---------------|------|----|--------------------------------|-------|-----------------------|
| | 予算区分 | | | | |
| 予算化する 主な事業 | G1 | 継続 | 学校図書館司書配置費 | 学校教育課 | 65,023 千円 |
| | G1 | 継続 | 平和教育指導費 | 学校教育課 | 1,296 千円 |
| | G1 | 新規 | 宿泊体験推進事業費 | 学校教育課 | 13,801 千円 |
| | G1 | 新規 | 「長崎の宝」発見発信学習推進費 | 学校教育課 | 3,303 千円 |
| | G1 | 継続 | ながさき子ども体験推進費 | 学校教育課 | 9,329 千円 |
| | G1 | 拡大 | 国際理解教育推進費 (英語寺子屋事業) | 学校教育課 | 208,372 千円 (210) |
| | G1 | 拡大 | 国際理解教育推進費 (小学校英語教材(DVD)作成) | 学校教育課 | 208,372 千円 (200) |
| | G1 | 拡大 | 国際理解教育推進費 (中山市の中学校との友好交流事業) | 学校教育課 | 208,372 千円 (2,043) |
| | G2 | 継続 | 科学館施設整備事業費 | 生涯学習課 | 46,900 千円 |
| | G2 | 新規 | 恐竜化石等研究調査費 | 生涯学習課 | 4,490 千円 |
| | G2 | 拡大 | 大型公民館講座開設費 (英語でおもてなし講座) | 生涯学習課 | 8,492 千円 (512) |

※拡大事業については、「事業名」及び「予算額」の欄に、拡大部分に係る内容と額をカッコ書きで記載しています。